

平成 29 年度阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会

議 事 次 第

日時：平成 30 年 3 月 29 日（木）13:30～15:30

場所：阿寒湖まりむ館 多目的ホール

1. 開会

2. 議題

- (1) 阿寒国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱の改正について
- (2) 阿寒国立公園満喫プロジェクト ステップアッププログラム 2020 の改定について
- (3) 各主体における取組状況について
- (4) 中間評価について
- (5) その他

3. 閉会

【配付資料一覧】

議事次第

出席者一覧・配席図

資料 1 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱（改正案）

資料 2 阿寒国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム 2020（改定案）
の概要

資料 3 阿寒国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム 2020（改定案）

資料 4 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム 2020 の進
捗状況

資料 5 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム 2020 各取
組の進捗状況

資料 6 国立公園満喫プロジェクト中間評価について

資料 7 国立公園満喫プロジェクトの中間評価に係るスケジュール

参考資料 1 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会
平成 29 年度開催状況

参考資料 2 国立公園別訪日外国人利用者数推計値等
（第 7 回国立公園満喫プロジェクト有識者会議資料）

参考資料 3 阿寒摩周国立公園利用者アンケート結果

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会 設置要綱（改正案）

（目的）

第1条 国立公園の美しい自然を活かし、より上質な体験を提供することにより、世界水準の「ナショナルパーク」へと改革していく国立公園満喫プロジェクトを阿寒摩周国立公園において推進するための具体的なプログラム（以下「ステップアッププログラム 2020」という。）を策定し、実施していくことを目的に、関係機関の相互の連携を図るため、阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（協議事項）

第2条 協議会は、以下に掲げる事項を協議する。

- （1）阿寒摩周国立公園における国立公園満喫プロジェクトの推進に関する事項
- （2）「ステップアッププログラム 2020」の策定及び実施に関する事項。
- （3）その他、第2条の目的を達成するために必要と認められる事項。

（構成員）

第3条 協議会は、別表1に掲げる関係機関等をもって構成する。

2 協議会は、必要に応じアドバイザーを招集することができる。

（会議）

第4条 会議は、必要に応じて事務局が招集する。

2 議事は、事務局において進行する。

（阿寒地域部会及び摩周地域部会）

第5条 阿寒摩周国立公園の地域ごとの具体的な事項を検討するため、阿寒地域部会及び摩周地域部会を設置する。

2 阿寒地域部会及び摩周地域部会は、それぞれ別表2－1及び別表2－2に掲げる者で組織する。

3 阿寒地域部会及び摩周地域部会では、それぞれの地域における「ステップアッププログラム 2020」の検討及び推進に関する事項を所掌する。

（事務局）

第6条 協議会及び各地域部会の事務局は、それぞれ以下に置く。

- （1）協議会 北海道環境生活部及び環境省阿寒摩周国立公園管理事務所
- （2）阿寒地域部会 北海道釧路総合振興局及び環境省阿寒摩周国立公園管理事務所
- （3）摩周地域部会 北海道釧路総合振興局及び環境省阿寒摩周国立公園管理事務所

（その他）

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則 この要綱は、平成28年9月13日から施行する。

附 則 この要綱は、平成 年 月 日から施行する。

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会構成員

団 体 名	職 名
環境省釧路自然環境事務所	所長
国土交通省北海道開発局	開発監理部 開発連携推進課長
国土交通省北海道開発局	釧路開発建設部長
国土交通省北海道運輸局	観光部長
林野庁北海道森林管理局	計画保全部長
経済産業省北海道経済産業局	地域経済部長
北海道釧路総合振興局	局長
北海道環境生活部環境局	生物多様性・エコシカ対策担当局長
北海道経済部観光局	国際観光担当局長
釧路市	市長
美幌町	町長
津別町	町長
清里町	町長
小清水町	町長
大空町	町長
足寄町	町長
標茶町	町長
弟子屈町	町長
白糠町	町長
中標津町	町長
(公社)北海道観光振興機構	会長
阿寒摩周国立公園広域観光協議会	会長
(特非)阿寒観光協会まちづくり推進機構	理事長
(一社)摩周湖観光協会	会長
(一財)前田一步園財団	理事長
(一財)自然公園財団阿寒湖支部	所長
(一財)自然公園財団川湯支部	所長

阿寒地域部会構成員

団 体 名	職 名
環境省阿寒摩周国立公園管理事務所	所長
国土交通省北海道開発局	開発連携推進課 開発企画官
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	次長
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	次長
国土交通省北海道運輸局釧路運輸支局	首席運輸企画専門官
林野庁北海道森林管理局根釧西部森林管理署	署長
経済産業省北海道経済産業局	地域経済部 情報・サービス政策課長
北海道釧路総合振興局	くらし・子育て担当部長
北海道釧路総合振興局	産業振興部長
北海道十勝総合振興局	保健環境部 環境生活課長
北海道環境生活部環境局	生物多様性保全課 自然公園担当課長
釧路市産業振興部	観光振興監
釧路市総合政策部都市計画課	課長
足寄町経済課	課長
白糠町経済課	課長
(公社)北海道観光振興機構	広報グループ兼商品開発グループ 担当部長
(特非)阿寒観光協会まちづくり推進機構	専務理事
(特非)あしよろ観光協会	事務局長
(一財)前田一步園財団	常務理事
(一財)自然公園財団阿寒湖支部	所長
阿寒温泉地区景観協議会	会長
阿寒アイヌ工芸協同組合	代表理事

摩周地域部会構成員

団 体 名	職 名
環境省阿寒摩周国立公園管理事務所	所長
国土交通省北海道開発局	開発連携推進課 開発企画官
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	次長
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	次長
国土交通省北海道運輸局釧路運輸支局	首席運輸企画専門官
林野庁北海道森林管理局根釧西部森林管理署	署長
経済産業省北海道経済産業局	地域経済部 情報・サービス政策課長
北海道釧路総合振興局	くらし・子育て担当部長
北海道釧路総合振興局	産業振興部長
北海道オホーツク総合振興局	保健環境部 環境生活課長
北海道根室振興局	保健環境部 環境生活課長
北海道環境生活部環境局	生物多様性保全課 自然公園担当課長
美幌町経済部商工観光グループ	観光主幹
清里町企画政策課	課長
小清水町産業課	課長
大空町地域振興課	主幹
標茶町企画財政課	課長
弟子屈町観光商工課	課長
弟子屈町環境生活課	課長
中標津町経済振興課	課長
津別町産業振興課	主幹
(公社)北海道観光振興機構	広報グループ兼商品開発グループ 担当部長
(一社)摩周湖観光協会	副会長
美幌観光物産協会	事務局長
(特非)きよさと観光協会	事務局長
小清水町観光協会	事務局長
(特非)オホーツク大空町観光協会	事務局長
標茶町観光協会	事務局長
(一社)なかしべつ観光協会	専務理事
津別観光協会	事務局長
阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会	会長
(一財)自然公園財団川湯支部	所長

阿寒国立公園満喫プロジェクトステップアップ

番号	改定箇所
1	全体
2	P.14 ⑤地域連携による広域的な取組
3	P.19 ②各ビューポイントを含め広域的に実施する事項
4	P.21 ③ビューポイントにおいて実施する事項 ■阿寒湖 ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等
5	P.27 ③ビューポイントにおいて実施する事項 ■摩周湖 ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等
6	P.28 ③ビューポイントにおいて実施する事項 ■屈斜路湖 ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等
7	P.28 ③ビューポイントにおいて実施する事項 ■屈斜路湖 ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等
8	P.29 (3) プロモーションに係る事項
9	P.31～36 (4) スケジュール

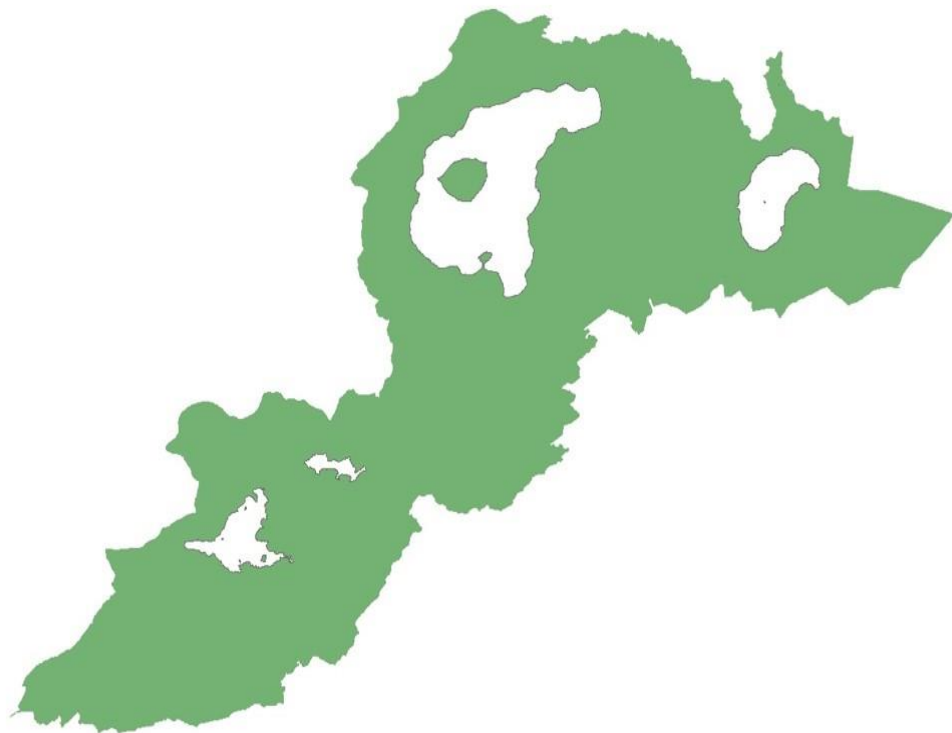
ツブプログラム 2020（改定案）概要

改定内容
平成29年8月8日の第5次公園計画点検に伴い、「阿寒国立公園」を「阿寒摩周国立公園」に修正するほか、公園区域図や面積などのデータを修正。 組織名の変更や実施主体の追加に伴い修正。
「国立公園区域外の利用拠点との連携や観光資源の活用」を追記
「国立公園区域外の利用拠点や観光資源も含めたツアーの造成や効果的なPRを行う等、地域一体となった取組を進める（阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会）」を追記
「2020（平成32）年度までに、白湯山展望台の再整備等について検討を進める。（釧路市）」を追記
「2020（平成32）年度までに、神の子池周辺について観光客の利便性と環境保護の双方の観点を踏まえつつ、整備に向けて検討を進める。（清里町）」を追記
「2017（平成29）年度までに、藻琴山東斜面野営場の再整備等を行う。（小清水町）」を追記
「2017（平成29）年度までに、藻琴山東斜面野営場の再整備等を行う。（小清水町）」を追記
プロモーションの実施にあたり「国立公園区域外の利用拠点等とも連携」を追記
上記追記部分に対応する形でスケジュール表を修正

阿寒摩周国立公園

満喫プロジェクト

ステップアッププログラム 2020



2016(平成 28)年 12 月

2018(平成 30)年 3 月改定

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会

はじめに

2016（平成 28）年 3 月に、政府により「明日の日本を支える観光ビジョン」がとりまとめられ、訪日外国人旅行者数を 2020（平成 32）年までに 4,000 万人とすることが新たな目標として掲げられた。この目標を達成し、なおかつ裾野の広い観光を通じて活気ある地域社会の実現を目指すためには、我が国の自然・文化・気候・食等の豊富な観光資源を今まで以上に活用することが必要となる。

我が国の国立公園は、豊かな自然に加え、地域に根ざした生活文化や地域産業、食等の魅力ある観光資源を有している一方で、これまで十分にそのポテンシャルが発揮されていなかったという課題もある。そのため、同ビジョンでは「日本の国立公園を世界水準の“ナショナルパーク”としてブランド化を図る」ことが掲げられ、『国立公園満喫プロジェクト』として、2020（平成 32）年までに訪日外国人を惹きつける取組を計画的・集中的に実施し、訪日外国人の国立公園利用者数を 2015（平成 27）年の年間 430 万人から 2020（平成 32）年には 2 倍以上の 1,000 万人に増やすことを目指すこととされた。

この目標を達成するため、全国の国立公園の中で先行的・集中的な取組を実施する国立公園の一つとして、阿寒~~摩周~~国立公園が選定された。

阿寒~~摩周~~国立公園満喫プロジェクト ステップアッププログラム 2020（以下「ステップアッププログラム」という。）は、阿寒~~摩周~~国立公園における具体的な取組について、2016（平成 28）年度から 2020（平成 32）年度までの 5 年間を計画期間とした“ロードマップ”として策定するものである。

目 次

はじめに

1. 現状分析	1
(1) 阿寒 摩周 国立公園の特色	1
(2) 阿寒 摩周 国立公園の利用の現状	5
1) 国立公園の利用者数	5
2) 訪日外国人利用者数	5
(3) 阿寒 摩周 国立公園の利用の推進に係る課題	6
2. 目標	7
3. コンセプト・取組の方針	8
(1) コンセプト	8
(2) 取組の方針	9
4. ターゲット	10
5. プロジェクトの実施	11
(1) アクセスルートに係る事項	11
1) アクセスルートの特定と取組方針	11
2) アクセスルート上で実施する事項	12
3) その他のアクセスに関する事項	12
(2) 阿寒 摩周 国立公園内に係る事項	13
1) 阿寒 摩周 国立公園における重点事項	13
2) ビューポイント（重点取組地域）に係る事項	14
(3) プロモーションに係る事項	29
(4) スケジュール	31
6. 効果検証	37
(1) 訪日外国人利用者数	37
(2) プロジェクトの進捗状況	37

1. 現状分析

Step up Program 2020

(1) 阿寒摩周国立公園の特色

阿寒摩周国立公園は、「火山と森と湖」が織りなす雄大な景観を有する国立公園である。現在も噴気活動が続ける火山性の山々、それらを包むように広がる天然林、山麓には阿寒湖、摩周湖、屈斜路湖に代表される湖が点在する。その豊かな自然の中で希少種を含む多くの野生動植物が育まれ、公園内の各地で、それぞれ特徴的な温泉が湧出している。公園内にはアイヌコタンがあり、アイヌの伝統文化が伝承継承されている。

このような「原始的な自然」を舞台に、季節ごとに利用者のニーズなどに応じて、登山やトレッキング、森林散策、ドライブ、カヌー、釣り、スキー、キャンプ、温泉浴など様々な利用が進められている。



イソツツジと硫黄山



阿寒湖滝口



屈斜路湖の雲海



摩周湖



オンネトー



雌阿寒岳



阿寒湖畔



マリモ



イオマンテの火祭り

<阿寒摩周国立公園 data>

指定年月日	1934（昭和9）年12月4日 ※2017（平成29）年8月8日に「阿寒国立公園」から名称変更
公園面積	91,413ha
火山地形	阿寒湖カルデラ、屈斜路カルデラ（日本最大級の規模） 雄阿寒岳（1,371m）、雌阿寒岳（1,499m）、藻琴山（1,000m）、硫黄山（508m）
湖沼	阿寒湖、摩周湖（世界有数の透明度）、屈斜路湖、オンネトー
植物	トドマツ、エゾマツ、イソツツジ、メアカンキンバイ、 阿寒湖のマリモ（国指定特別天然記念物）
動物	ヒグマ、エゾシカ、キタキツネ、エゾタヌキ、エゾリス クマゲラ、オジロワシ、シマフクロウ、オオハクチョウ
温泉	阿寒湖、雌阿寒、川湯、仁伏、砂湯、池の湯、コタン、和琴
文化	アイヌ文化



池の湯



カヌー



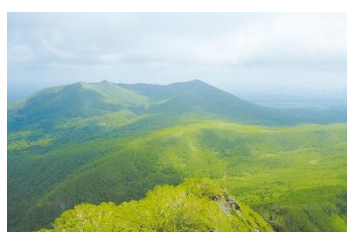
エゾツツジ



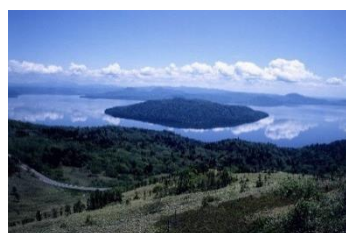
まりも祭り



双湖台



西別岳



屈斜路湖



キタキツネ



オンネトー湯の滝

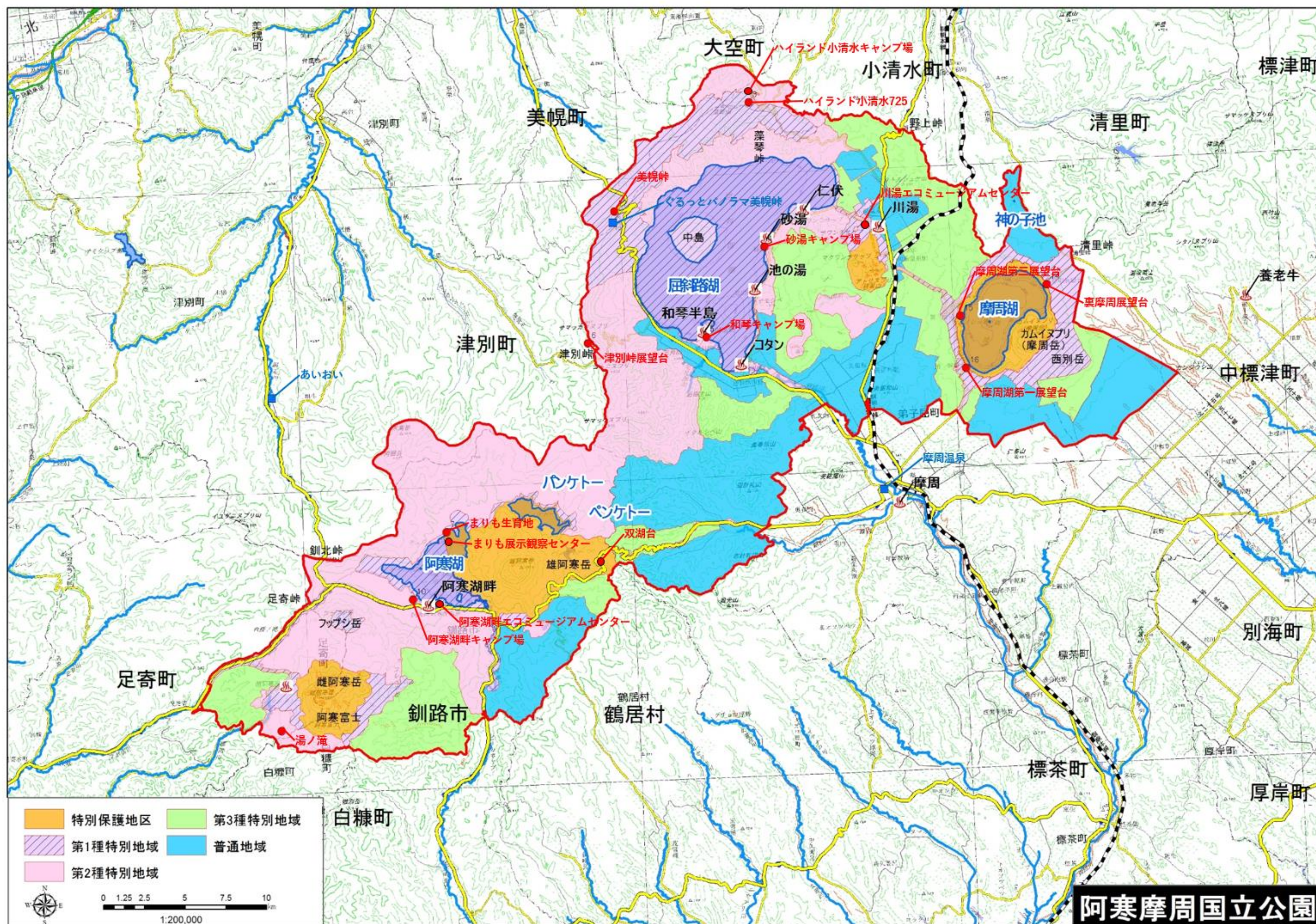


図1 阿寒摩周国立公園区域図

(2) 阿寒摩周国立公園の利用の現状

1) 国立公園の利用者数

阿寒摩周国立公園の利用者数は、調査が開始された 1971（昭和 46）年から増加し、1999（平成 11）年の 786 万人をピークに、以降は減少傾向にある。2014（平成 26）年の利用者数は、360 万人であった。

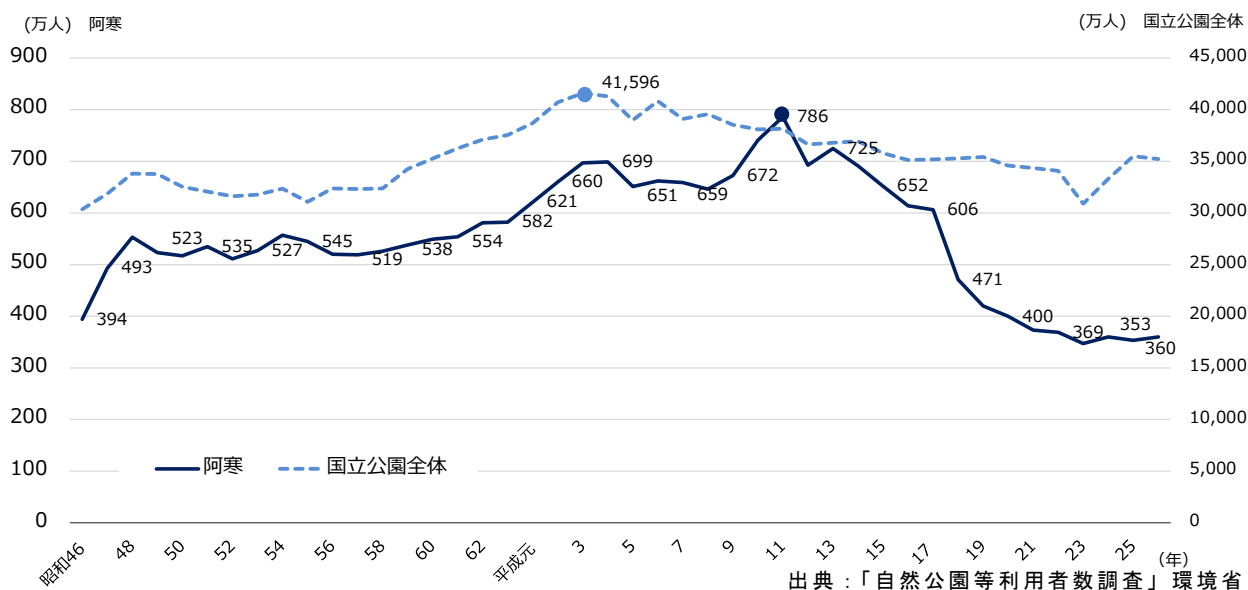


図2 阿寒摩周国立公園利用者数の経年変化

2) 訪日外国人利用者数

2015（平成 27）年の阿寒摩周国立公園の訪日外国人利用者数は、6.3 万人であった。

国・地域別に見ると、アジア：6.2 万人（全体の 98%）、欧米豪：0.1 万人（同 2%）となっており、アジアでは台湾（同 57%）、中国（同 30%）、香港（同 9%）の割合が高い。

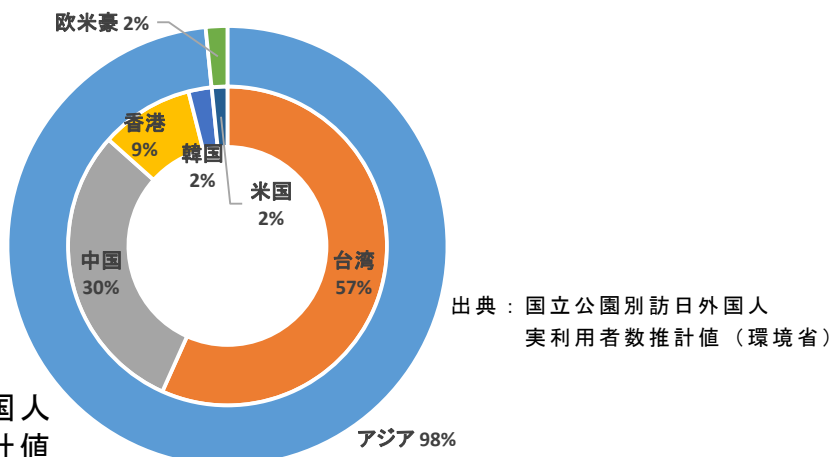


図3 阿寒摩周国立公園訪日外国人
実利用者数推計値
国籍・地域別構成比（2015(平成 27)年）

（３）阿寒摩周国立公園の利用の推進に係る課題

国立公園満喫プロジェクトの全体目標（2020 年の訪日外国人利用者数：1,000 万人）を踏まえ、阿寒摩周国立公園の利用の推進に係る課題を以下のとおり整理する。

■ 受入れ態勢の充実

訪日外国人を含め今後より多くの利用者を迎え、幅広いニーズに応えるためには、観光関連施設や公園利用施設等の再整備やリニューアルを通じて、利便性や快適性を向上させることが必要である。廃屋のような利用者に負の印象を与える施設を含め、まちなみ景観の改善を図ることも必要である。

また、利用者の満足度や再来訪意向、他者への紹介意向を高めるため、各所における案内や接客等のサービスの向上といった対応も必要である。

さらに、特に外国人利用者の視点からは、二次交通の充実をはじめとするアクセスの利便性の向上が大きな課題である。

■ 利用メニュー・滞在プログラムの提供

阿寒摩周国立公園を訪れる利用者のニーズは、団体旅行から個人旅行へ、マスツーリズムからエコツーリズムへとといったように時代の経過とともに変化している。国内、海外を問わず利用者ごとのニーズを的確に捉え、受入れ態勢の充実とあわせて、訪れる利用者がより楽しみ、より心地よく滞在してもらえるような利用メニュー・滞在プログラムを提供する必要がある。

■ プロモーションの促進

阿寒摩周国立公園における訪日外国人利用者数の増加を目指す上では、特に海外に向けて、同公園の魅力や楽しむことのできるアクティビティー等の情報発信を含め、積極的なプロモーションを促進する必要がある。

■ ブランドの確立と地域の活性化

阿寒摩周国立公園の自然環境の質の高さと利用環境をブランドとして確立するとともに、国内外における認知度を高めることを通じて、旅行消費額の向上など地域の活性化につなげていく必要がある。

2. 目標

Step up Program 2020 →

ステップアッププログラムの実施により、阿寒~~摩周~~国立公園において 2020（平成 32）年に達成すべき目標を以下のとおり設定する。

● 訪日外国人利用者数：15 万人

（2015（平成 27）年の訪日外国人利用者数：6.3 万人）

北海道では 2020（平成 32）年度を目途として、外国人観光客を 2015（平成 27）年度の 208 万人から 500 万人に増加させることを目標としており、その増加率（約 2.4 倍）を目安に目標を設定する。

また、訪日外国人利用者数の増加とともに、国内利用者を含め、阿寒~~摩周~~国立公園及び周辺地域における旅行消費額の向上を目指す。



3. コンセプト・取組の方針

Step up Program 2020 →

2. の目標を達成するため、阿寒~~摩周~~国立公園の特色等を踏まえ、阿寒~~摩周~~国立公園満喫プロジェクトのコンセプト及び取組の方針を以下のとおり設定する。

(1) コンセプト

火山と森と湖が織りなす原生的な自然を堪能する

【コンセプトの具現化】～阿寒~~摩周~~国立公園の楽しみ方～

- 世界最大の球状マリモの群生地である阿寒湖、世界レベルの透明度を誇る摩周湖、それらを包むように広がる深い森、今なお活発な火山の山々、そこに息づく動物たち、それらが織りなす原生的な自然の世界を存分に堪能する。
- 「カヌーの聖地」釧路川や湖でのカヌー、世界最大規模の屈斜路カルデラで体感する雲海ツアー、火山現象を間近に見ながら楽しめるトレッキング、湖畔や川辺でのバードウォッチングなど、ローインパクトなアクティビティーを通じ、原生的な自然の雄大さや偉大さ、パワー、生きもののたくましさに直接ふれて体験する。
- 眺望や居心地のよい宿泊施設、展望施設、カフェでの滞在、それぞれ特色の異なる温泉での保養、静寂な森の中でのグランピングなど、優れた景観や大自然の魅力を実感しながら上質な時間を過ごす。
- 古くから伝わるアイヌの祭事や伝統文化など、我が国の先住民族であるアイヌの文化を体感する。



（２）取組の方針

【基本的な考え方】

阿寒摩周国立公園の特色である「火山と森と湖」が織りなす原生的な自然・景観、特徴的な温泉、豊かな野生動植物、アイヌの伝統文化など、自然の恵みと伝統文化をしっかりと保護・維持する。

その上で、公園を訪れる利用者に本来の姿のままの自然や文化を体験してもらうため、適正かつ持続可能な利用を推進する。

「原生的な自然」をツーリズムに開放することなどによって、世界の人々に非日常的な体験を提供し、高品質・高付加価値のインバウンド市場を創造する。

【取組の方針】

- ・ 豊かな自然環境及び自然資源の保護を大前提とした上で、安心・安全という観点も含め適正かつ持続可能な利用を推進する。
- ・ 質の高い居心地のよい滞在空間を創出・演出する。
- ・ 滞在時間の延長とリピーターの増加を目指す。
- ・ ターゲットを意識し、ターゲットごとにプロモーションや利用メニューの検討など各種の取組を進める。
- ・ 阿寒摩周国立公園のブランド力の向上とバリューアップを図り、旅行消費額の向上など地域活性化につなげることを意識して取り組む。
- ・ それぞれの関係者が主体性を持って取り組む。
- ・ 阿寒摩周国立公園への名称変更（2017年8月）を契機として地域全体で満喫プロジェクトに係る認識を共有し、それぞれの地域の特色や魅力を生かしつつ、関係者相互に有機的な連携を図りながら取組を進める。
- ・ ステップアッププログラムの進捗状況等を定期的に把握し、必要に応じて見直しを行うなど柔軟に取り組む。



4. ターゲット

Step up Program 2020

○海外

(アジア)

- 2015（平成 27）年の訪日外国人利用者数のうち、98%がアジアからの利用者が占めており、引き続きアジアからの利用者の一層の誘致を進める。また、近年個人旅行の形態が増加しつつあるため、そのような旅行形態の変化も意識する必要がある。

(欧米豪)

- 長期滞在型等の利用を目指すといった観点からは、現在 2%に留まっている欧米豪からの利用者を重要なターゲットと位置づけ、着実にその増加を図ることが必要である。

○国内

- 利用者のうちの圧倒的多数を占める国内利用者については、近年減少傾向が続いているものの、地域全体への効果という観点からは重要なターゲットであり、再び増加を図ることが必要である。

○共通

- 旅行消費額の向上を目指すといった観点や旅行を巡る社会状況等を踏まえ、国内外共通のターゲットとして、「富裕者層」及び「高齢者層」を位置づける。



5. プロジェクトの実施

Step up Program 2020

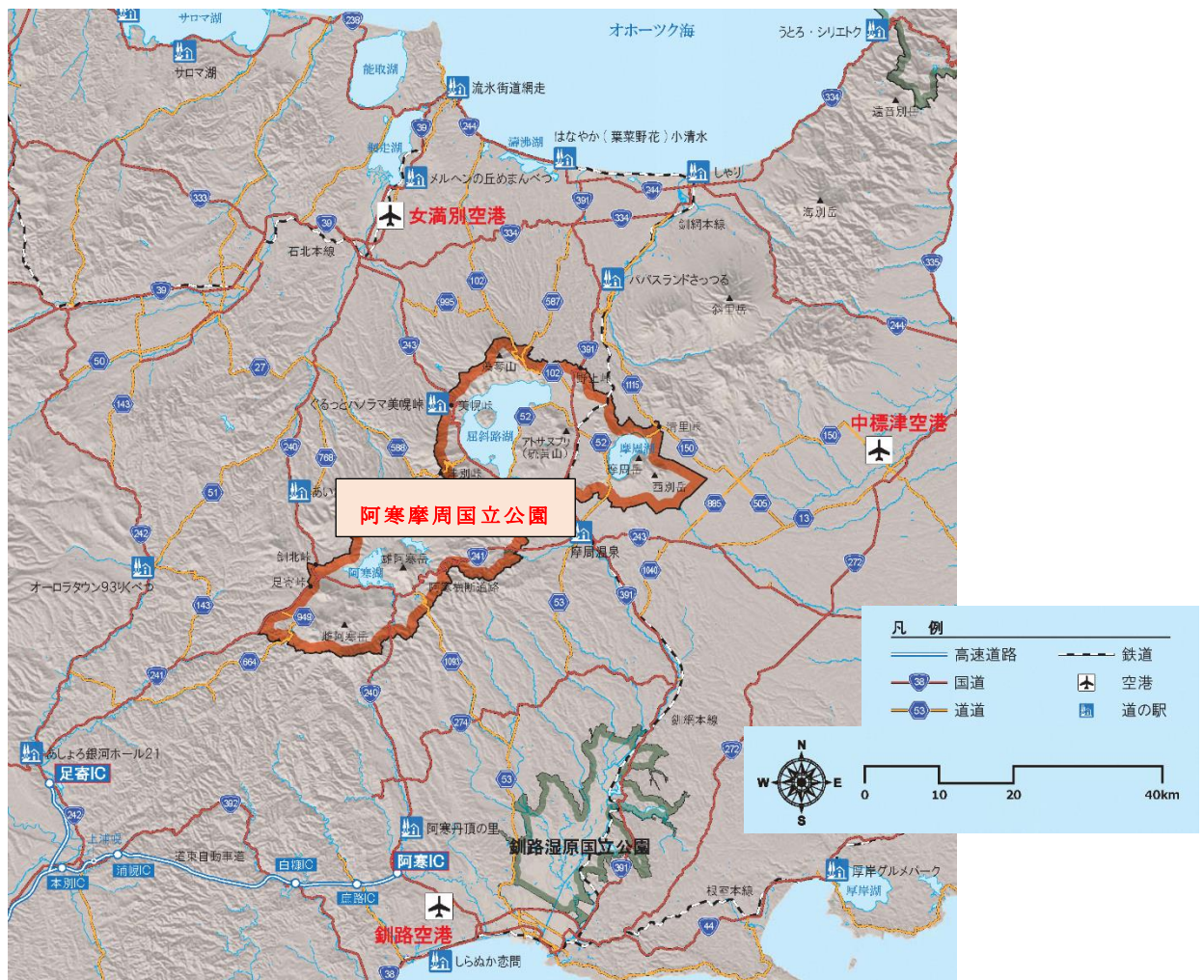
(1) アクセスルートに係る事項

1) アクセスルートの特定と取組方針

阿寒~~摩周~~国立公園までのアクセスルートとして、国立公園から 70km 以内（自家用車での所要時間 90 分以内）の距離に位置する 3 つの空港（釧路空港、女満別空港、中標津空港）を主要交通拠点として位置づけ、それらの拠点から国立公園に至るルートを設定する。

また、いわゆる北海道の玄関口である新千歳空港を阿寒~~摩周~~国立公園への交通拠点として認識し、同公園への誘導策等について検討するとともに、可能な範囲で取組を推進していくことが重要である。

さらに、タンチョウの観察など、阿寒~~摩周~~国立公園までのアクセスにおいて体験できる魅力等を含めて発信していくことも重要である。



2) アクセスルート上で実施する事項

- 2017（平成 29）年度までに、主要交通拠点の釧路空港において、阿寒~~摩~~~~周~~国立公園に誘導するための多言語に対応した案内板の設置等を行う。（環境省）
- 2018（平成 30）年度までに、主要交通拠点の女満別空港及び中標津空港において、阿寒~~摩~~~~周~~国立公園に誘導するための多言語に対応した案内板の検討・設置等を行う。（環境省）
- 2020（平成 32）年度までに、アクセスルート上の阿寒~~摩~~~~周~~国立公園の入口に、エントランス標識等を設置する。（環境省）
- 阿寒~~摩~~~~周~~国立公園への名称変更後、アクセスルート上の公園入口に設置されている標識の公園名称修正を行う。（国土交通省）
- 2020（平成 32）年度までに、道の駅「阿寒丹頂の里」において、多言語に対応した解説看板やサイン類の整備等を行う。（釧路市）
- 2020（平成 32）年度までに、主要交通拠点の 3 つの空港（釧路空港、女満別空港、中標津空港）及び新千歳空港からの二次交通の充実をはじめとした誘導策等を検討し、その結果を踏まえ充実を図る。（国土交通省、北海道、阿寒~~摩~~~~周~~国立公園広域観光協議会）
- 2020（平成 32）年度までに、阿寒~~摩~~~~周~~国立公園内外のアクセス強化を図るため、新千歳空港～オンネトー～阿寒湖温泉～J R 摩周駅～中標津空港、釧路空港～阿寒湖温泉～女満別空港、女満別空港～美幌峠～J R 摩周駅～中標津空港間における二次交通のアクセス強化に向けた検討を進める。（国土交通省、北海道、阿寒~~摩~~~~周~~国立公園広域観光協議会）



3) その他のアクセスに関する事項

- 阿寒~~摩~~~~周~~国立公園の阿寒地域と摩周地域を結ぶ「阿寒横断道路」は、国立公園の利用上重要なルートであるため、ルート上にある双湖台・双岳台の展望地を含め、引き続き国立公園内の道路として良好な景観の確保を図る。（国土交通省）



(2) 阿寒摩周国立公園内に係る事項

1) 阿寒摩周国立公園における重点事項

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトのコンセプト（火山と森と湖が織りなす原生的な自然を堪能する）や取組の方針等を踏まえ、以下①～⑤を阿寒摩周国立公園における重点事項として掲げ、それぞれ具体的な取組を進めていく。

①新たな展望地など魅力地点の開放

○優れた景観や静寂な雰囲気を楽しめる場所へのカフェの併設など

→阿寒湖（阿寒湖畔エコミュージアムセンター）

川湯温泉（川湯エコミュージアムセンター）

オンネトー（雌阿寒温泉園地・オンネトー園地）

摩周湖（摩周第1展望台）

○富裕者層をターゲットとした宿泊施設の誘致

→阿寒湖、川湯温泉 など



②原生的な自然や伝統文化を活用したツアー・プログラム

・マリモ観察ガイドツアー（阿寒湖）

・大島へのカヌーツアー（阿寒湖）

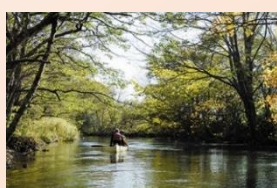
・アイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラム（阿寒湖・屈斜路湖）

・静かな湖畔でのグランピング（オンネトー）

・川湯温泉や硫黄山周辺での通年アクティビティー（川湯温泉・硫黄山）

・美幌峠の雲海ツアー・プログラム（屈斜路湖）

・釧路川へのカヌーツアー（屈斜路湖） など



③温泉街のまちなみ景観の改善

- ・アイヌコタンの魅力向上を含めた阿寒湖温泉街の景観改善(阿寒湖)
- ・「森の中にある温泉街」をコンセプトとした自然滞在型温泉保養地への再生(川湯温泉)



④質の高い利用環境を提供するための施設整備

- ・新たな魅力地点につながる阿寒湖畔滝口線の新設(阿寒湖)
- ・阿寒湖畔エコミュージアムセンターの再整備(阿寒湖)
- ・阿寒湖温泉街の玄関口となるフォレストガーデンの整備(阿寒湖)
- ・オンネトー・雌阿寒温泉周辺の再整備(オンネトー・雌阿寒岳)
- ・川湯エコミュージアムセンターの再整備(川湯温泉)
- ・つつじヶ原探勝路の再整備(硫黄山)
- ・摩周第1展望台、摩周第3展望台、裏摩周展望台の再整備(摩周湖)
- ・和琴集団施設地区の再整備(屈斜路湖)
- ・美幌峠園地の再整備(屈斜路湖) など



⑤地域連携による広域的な取組

- ・阿寒摩周国立公園(仮称)への名称変更
- ・地域の魅力を生かしたロングトレイルやサイクリングロードの設定
- ・統一的なデザインによる多言語の解説看板や標識の整備
- ・国立公園区域外の利用拠点との連携や観光資源の活用 など



2) ビューポイント（重点取組地域）に係る事項

①ビューポイントの設定

ステップアッププログラムの目標達成に向けては、観光資源としてのポテンシャルがあり、かつ幅広い主体による有機的な連携が期待される地域を設定し、それぞれの地域において重点的な取組を推進していくことが重要である。そのため、阿寒~~摩周~~国立公園における観光資源としてのポテンシャル等を踏まえ、以下の5つの地域を「ビューポイント（重点取組地域）」として設定した。

- 阿寒湖
- オンネトー・雌阿寒岳
- 川湯温泉・硫黄山
- 摩周湖
- 屈斜路湖

②各ビューポイントを含め広域的に実施する事項

- ステップアッププログラムが阿寒~~摩周~~国立公園満喫プロジェクトを進める上でのマスタープランとして機能するよう、定期的に各プロジェクトの進捗状況を把握し、考え方の整理や内容の充実等を図っていく。(阿寒~~摩周~~国立公園満喫プロジェクト地域協議会)
- 2017(平成29)年度までに、阿寒国立公園の名称を「阿寒~~摩周~~国立公園(仮称)」に変更する。(環境省) ※2017(平成29)年8月に名称変更済み
- 2020(平成32)年度までに、国立公園内及び周辺観光地も含めた広域的な視点での長期滞在の促進を目的として、それぞれの地域の特色や魅力を生かしたロングトレイルやサイクリングロードの設定等について検討し、その結果を踏まえ設定等を進める。(環境省、国土交通省、林野庁、北海道、阿寒~~摩周~~国立公園広域観光協議会)

※ロングトレイルのルート設定のイメージ

- ・ 雄阿寒岳～滝口～ボッケ～阿寒湖温泉～白湯山～雌阿寒岳～オンネトー
- ・ 摩周岳～美留和～硫黄山～つつじヶ原散策路～ぼんぼん山～屈斜路湖
～藻琴山～美幌峠～津別峠

※サイクリングロードのルート設定のイメージ

- ・ 女満別空港～美幌峠～屈斜路湖～川湯温泉～摩周湖～弟子屈町
- ・ 清里町～ハイランド小清水725～川湯温泉～摩周湖～弟子屈町



- 多言語に対応した解説看板や標識等については、関係者相互に連携を図り、阿寒~~摩周~~国立公園の特色を踏まえつつ統一的なデザインとなるような整備等を行う。(阿寒~~摩周~~国立公園満喫プロジェクト地域協議会)
- 施設の整備等を行う際には、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえつつ、施設の目的や設置場所、想定される利用形態等に応じて対応する。(阿寒~~摩周~~国立公園満喫プロジェクト地域協議会)
- 国立公園区域外の利用拠点や観光資源も含めたツアーの造成や効果的なPRを行う等、地域一体となった取組を進める(阿寒~~摩周~~国立公園満喫プロジェクト地域協議会)

③ビューポイントにおいて実施する事項

■ 阿寒湖

ア) 多様なサービスの提供のための民間活用

a) 公共施設等の民間開放

- 2017（平成 29）年度までに、阿寒湖畔エコミュージアムセンターにおけるカフェやツアーデスクの併設など民間開放のあり方を検討する。
（環境省）



b) 上質な宿泊施設の誘致

- 2020（平成 32）年度までに、利用者層の幅を広げるため、地域合意を得ながら富裕者層をターゲットとした宿泊施設の誘致及び同施設への利用者の受入れ環境整備について検討を進める。（釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構）



c) ツアー・プログラム開発とガイド育成

- 2017（平成 29）年度までに、阿寒湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。（環境省）
- 2020（平成 32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラム（阿寒湖のマリモ観察ガイドツアー、大島へのカヌーツアー、栈橋の活用等を含めた湖上クルーズの魅力向上プログラム、阿寒湖温泉街のまち歩きによる魅力向上プログラム等）の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向けた検討を行う。（**経済産業省**、阿寒観光協会まちづくり推進機構、前田一歩園財団、自然公園財団阿寒湖支部 等）
- 2020（平成 32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、利用者にアイヌ文化への関心や理解を深めてもらうため、アイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラム等の開発・実施を図る。（阿寒観光協会まちづくり推進機構、阿寒アイヌ工芸協同組合）



d) 利用料等の公園管理への活用

- 2020（平成 32）年度までに、阿寒湖畔における駐車場利用に係る協力金について、阿寒湖畔の魅力向上のための用途等を検討する。
（自然公園財団阿寒湖支部）

イ) まちなみ等の景観改善

- 2020（平成 32）年度までに、アイヌコタンの魅力向上を含めた阿寒湖温泉街におけるまちなみ景観の改善手法（景観に関する地域のルールづくり等）を検討し、その結果を踏まえ改善を進める。（釧路市、阿寒湖温泉地区景観協議会、阿寒観光協会まちづくり推進機構、前田一歩園財団、阿寒アイヌ工芸協同組合）



ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等

- 2017（平成 29）年度までに、阿寒湖畔集団施設地区における既存の整備関連計画の見直しを行い、新たな整備基本計画としてとりまとめる。
（環境省）
- 2020（平成 32）年度までに、以上の整備基本計画に基づき、阿寒湖畔園地内の歩道の再整備、新たな魅力地点につながる歩道（阿寒湖畔滝口線）の新設、阿寒湖畔エコミュージアムセンターの再整備、ICT を用いた多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。（環境省）
- 2017（平成 29）年度までに、阿寒湖畔集団施設地区の公衆トイレの改修等や阿寒湖畔野営場の再整備等を行う。（北海道）
- 2017（平成 29）年度までに、雌阿寒岳登山線（白湯山）の再整備等を行う。（北海道）
- 2020（平成 32）年度までに、白湯山展望台の再整備等について検討を進める。（釧路市）
- 2020（平成 32）年度までに、阿寒湖温泉街の玄関口となるフォレストガーデンの整備を進め、駐車場等の一部供用を開始する。
（釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構）
- 2020（平成 32）年度までに、アイヌ文化発信拠点としての阿寒湖アイヌシアターイコロや、仮称アイヌアートミュージアム等（既存施設の活用を含めて検討）を活用した、阿寒湖アイヌコタンにおける「歴史文化交流ゾーン」の形成について検討を進める。（内閣官房、環境省、北海道、釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構 等）



- 2020（平成 32）年度までに、阿寒湖畔スキー場のコース拡幅や夏季利用の推進、眺望の優れた場所へのカフェの誘致、ユニバーサルデザインの視点に立った整備など、魅力向上に向けた検討を進める。

（釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構）

- 2020（平成 32）年度までに、阿寒湖のマリモ展示観察センターの魅力向上に向けた検討を進める。

（釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構）

- 2020（平成 32）年度までに、双湖台園地の再整備等について検討を進める。（環境省、北海道、釧路市）

- 2020（平成 32）年度までに、前田公園の再整備等について検討を進める。（北海道、釧路市）

- 2020（平成 32）年度までに、阿寒湖まりむ館の観光案内所における外国人利用者への観光情報提供サービスの充実化に向けた取組を行う。（釧路市）



エ) その他

- 阿寒湖と周辺湖沼群の世界自然遺産認定に向けた活動を推進する。（釧路市）

■ オンネトー・雌阿寒岳

ア) 多様なサービスの提供のための民間活用

a) 公共施設等の民間開放

- 2020（平成 32）年度までに、雌阿寒温泉園地及びオンネトー園地を中心として、雌阿寒岳等を含めた周辺地域の情報提供やガイドセンターの機能を担うインフォメーションセンター等の設置について民間団体等による管理運営を含めた検討を行い、その結果を踏まえ取組を進める。（環境省、北海道、足寄町）



b) 上質な宿泊施設の誘致

- 2020（平成 32）年度までに、オンネトー国設野営場の民間経営委託及びグランピングなど富裕者層もターゲットにした事業モデルを検討し、その結果を踏まえ取組を進める。（足寄町 等）



c) ツアー・プログラム開発とガイド育成

- 2017（平成 29）年度までに、オンネトー・雌阿寒岳において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。（環境省）
- 2020（平成 32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、雌阿寒温泉園地、オンネトー園地、国設野営場地区、雌阿寒岳、オンネトー湯の滝等において具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向けた検討を行う。（足寄町、あしよろ観光協会等）



d) 利用料等の公園管理への活用

- 2020（平成 32）年度までに、雌阿寒温泉園地及びオンネトー園地等における駐車場利用に係る協力金の導入について検討する。（環境省、北海道、足寄町）



イ) まちなみ等の景観改善

—

ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等

- 2020（平成 32）年度までに、オンネトー園地及び雌阿寒温泉園地における再整備等のあり方を検討し、その結果を踏まえ再整備等を進める。
（環境省、北海道、足寄町）
- 2018（平成 30）年度までに、道道オンネトー線について、歩道柵の再整備を進める。（北海道）
- 2020（平成 32）年度までに、雌阿寒温泉園地における施設の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。（足寄町）



■ 川湯温泉・硫黄山

ア) 多様なサービスの提供のための民間活用

a) 公共施設等の民間開放

- 2017（平成 29）年度までに、川湯エコミュージアムセンターにおけるカフェやツアーデスクの併設など民間開放のあり方を検討する。（環境省）



b) 上質な宿泊施設の誘致

- 2020（平成 32）年度までに、川湯温泉街のまちなみ景観の改善手法の検討の一環として、富裕者層をターゲットとした宿泊施設の誘致の可能性についても検討を進める。（弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒~~摩周~~国立公園川湯地域運営協会）

c) ツアー・プログラム開発とガイド育成

- 2017（平成 29）年度までに、川湯温泉・硫黄山において適切な利用を推進するためのあり方について、硫黄山の歴史や必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。（環境省）
- 2020（平成 32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラム（川湯エコミュージアムセンター周辺や旧川湯スキー場跡地、硫黄山周辺等を活用した通年アクティビティー等）の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。（弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒~~摩周~~国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部 等）



d) 利用料等の公園管理への活用

- 2020（平成 32）年度までに、硫黄山における駐車場利用に係る協力金について、硫黄山の魅力向上のための用途等を検討する。
（自然公園財団川湯支部）

イ) まちなみ等の景観改善

- 2020（平成 32）年度までに、川湯温泉街のまちなみ景観について「森の中にある温泉街」をコンセプトとした改善手法（廃業した宿泊施設及び土産店等の撤去方法を含む）を検討し、自然滞在型の温泉保養地（ネイチャーリゾート）への再生に取り組む。
（環境省、北海道、弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒~~摩周~~国立公園川湯地域運営協会）



ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等

- 2017（平成 29）年度までに、川湯集団施設地区の整備基本計画をとりまとめる。（環境省）
- 2019（平成 31）年度までに、以上の整備基本計画に基づき、川湯園地内の歩道の再整備、川湯エコミュージアムセンターの再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。（環境省）
- 2019（平成 31）年度までに、つつじヶ原探勝路の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。（環境省）
- 2020（平成 32）年度までに、道道屈斜路摩周湖畔線について、歩道の整備及び歩道柵の再整備を進める。（北海道）



■ 摩周湖

ア) 多様なサービスの提供のための民間活用

a) 公共施設等の民間開放

- 2018（平成 30）年度までに摩周第 1 展望台へのカフェの併設など民間開放のあり方を検討する。（環境省、北海道、弟子屈町、摩周湖観光協会）



b) 上質な宿泊施設の誘致

—

c) ツアー・プログラム開発とガイド育成

- 2017（平成 29）年度までに、摩周湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。（環境省）
- 2020（平成 32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、摩周カルデラ北部外輪山及びその山麓域における利用のあり方を検討し、具体的なツアー・プログラムの開発を進める。（清里町、きよさと観光協会）
- 2020（平成 32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。
（弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒~~摩~~周国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部 等）
- 2020（平成 32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図る。（標茶町、中標津町、標茶町観光協会、なかしべつ観光協会、自然公園財団川湯支部 等）



d) 利用料等の公園管理への活用

- 2020（平成 32）年度までに、摩周湖における駐車場利用に係る協力金について、摩周湖の魅力向上のための用途等を検討する。（自然公園財団川湯支部）



イ) まちなみ等の景観改善

—

ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等

- 2020（平成 32）年度までに、ア) a) の民間開放のあり方の検討状況を踏まえつつ、摩周第1展望台、摩周第3展望台、裏摩周展望台の再整備等のあり方を検討し、その結果を踏まえ再整備等を進める。（環境省、北海道、清里町、弟子屈町）



- 2017（平成 29）年度までに、摩周第一園地の公衆トイレの改修等を行う。（北海道）
- 摩周岳や西別岳に至る登山道について、引き続き関係者の協力を得つつ維持管理等を行う。（環境省、標茶町、弟子屈町）



- 2020（平成 32）年度までに、神の子池周辺について観光客の利便性と環境保護の双方の観点を踏まえつつ、整備に向けて検討を進める。（清里町）

■ 屈斜路湖

ア）多様なサービスの提供のための民間活用

a) 公共施設等の民間開放

—

b) 上質な宿泊施設の誘致

—



c) ツアー・プログラム開発とガイド育成

- 2017（平成 29）年度までに、屈斜路湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。（環境省、弟子屈町）
- 2020（平成 32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、美幌峠の雲海のツアー・プログラムの開発・実施、ガイドの育成を図る。（美幌町、美幌観光物産協会）
- 2020（平成 32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、釧路川へのカヌーツアー、コタン地区におけるアイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラム等の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。（弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部 等）



- 2020（平成 32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図る。（津別町、小清水町、大空町、津別観光協会、小清水町観光協会、**オホーツク大空町観光協会**、自然公園財団川湯支部 等）

d) 利用料等の公園管理への活用

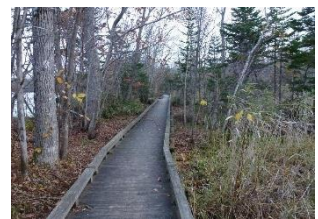
—

イ) まちなみ等の景観改善

—

ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等

- 2017（平成 29）年度までに、和琴集団施設地区の整備基本計画をとりまとめる。（環境省）
- 2019（平成 31）年度までに、以上の整備基本計画に基づき、和琴園地内の歩道やキャンプ場の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。（環境省）
- 2017（平成 29）年度までに、砂湯野営場の再整備等を行う。（北海道）
- 2017（平成 29）年度までに、美幌峠園地の再整備等を行う。（北海道）
- 2018（平成 30）年度までに、屈斜路カルデラ外輪山に位置し、阿寒国立公園のエントランスとしても重要な「道の駅ぐるっとパノラマ美幌峠」のレストハウスにおいて、多言語に対応した解説看板や標識、情報発信のための情報端末機器等の整備を行う。また、美幌峠の景観を楽しみながら休憩できる環境の整備を行う。（美幌町）
- 2020（平成 32）年度までに、コタン地区における公衆トイレの改修等について検討する。
（弟子屈町）
- 2020（平成 32）年度までに、釧路川へのカヌー利用の状況等を踏まえ、スタート地点となる釧路川源流部における整備等のあり方を検討し、その結果を踏まえ整備等を進める。（弟子屈町、摩周湖観光協会 等）
- **2017（平成 29）年度までに、藻琴山東斜面野営場の再整備等を行う。
（小清水町）**
- **2017（平成 29）年度までに、藻琴山八合目園地の再整備等を行う。
（小清水町）**



（３）プロモーションに係る事項

ステップアッププログラムの目標である「2020年（平成32）年の外国人利用者数：15万人」を達成するためには、各ターゲットに向けて効果的かつ効率的にその増加を図るための積極的なプロモーションが非常に重要であり、関係者が連携して以下の取組を行う。

- 2016（平成28）年度までに、日本の国立公園を魅力的なコンテンツとして全世界に発信するためのブランディング戦略（仮称）を策定するとともに、そのブランドイメージを視覚化するための国立公園マーク（仮称）を作成する。（環境省）
- 2017（平成29）年度までに、以上のブランディング戦略（仮称）等を踏まえ、阿寒~~摩周~~国立公園におけるインバウンドの増加を図るためのプロモーション戦略（仮称）をとりまとめる。（環境省）
- 2017（平成29）年度までに、以上のブランディング戦略（仮称）及びプロモーション戦略（仮称）等を踏まえ、阿寒~~摩周~~国立公園の魅力等を情報発信するためのプロモーション動画を作製し、ターゲットへの訴求力の高い海外メディア等を活用したプロモーションを行う。（環境省）
- 2020（平成32）年度までに、以上のブランディング戦略（仮称）及びプロモーション戦略（仮称）等を踏まえ、広域観光周遊ルート事業やビジット・ジャパン事業、道東エリアの国立公園（知床、釧路湿原）、**国立公園区域外の利用拠点等**とも連携し、具体的なプロモーション（日本政府観光局（JNTO）等と連携したプロモーション、ファムトリップ、外国人利用者の視点に立ったガイドブックの作成やホームページの開設・更新、外国人を含めた利用者向けのプロジェクションマッピング等）を進める。（環境省、国土交通省、**経済産業省**、北海道、北海道観光振興機構、阿寒~~摩周~~国立公園広域観光協議会）



(4) スケジュール

＜アクセスルート＞						
取組	実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
2017(平成29)年度までに、主要交通拠点の釧路空港において、阿寒 摩周 国立公園に誘導するための多言語に対応した案内板の設置等を行う。	環境省	●	●			
2018(平成30)年度までに、主要交通拠点の女満別空港及び中標津空港において、阿寒 摩周 国立公園に誘導するための多言語に対応した案内板の検討・設置等を行う。	環境省		●	●		
2020(平成32)年度までに、アクセスルート上の阿寒 摩周 国立公園の入口に、エントランス標識等を設置する。	環境省		●	●	●	●
阿寒摩周国立公園への名称変更後、アクセスルート上の公園入口に設置されている標識の公園名称修正を行う。	国土交通省		●	●	●	●
2020(平成32)年度までに、道の駅「阿寒丹頂の里」において、多言語に対応した解説看板やサイン類の整備等を行う。	釧路市		●	●	●	●
2020(平成32)年度までに、主要交通拠点の3つの空港(釧路空港、女満別空港、中標津空港)及び新千歳空港からの二次交通の充実をはじめとした誘導策等を検討し、その結果を踏まえ充実を図る。	国土交通省、北海道、阿寒 摩周 国立公園広域観光協議会		●	●	●	●
2020(平成32)年度までに、阿寒 摩周 国立公園内外のアクセス強化を図るため、新千歳空港～オンネトー～阿寒湖温泉～JR摩周駅～中標津空港、釧路空港～阿寒湖温泉～女満別空港、女満別空港～美幌峠～JR摩周駅～中標津空港間における二次交通のアクセス強化に向けた検討を進める。	国土交通省、北海道、阿寒 摩周 国立公園広域観光協議会		●	●	●	●
阿寒 摩周 国立公園の阿寒地域と摩周地域を結ぶ「阿寒横断道路」は、国立公園の利用上重要なルートであるため、ルート上にある双湖台・双岳台の展望地を含め、引き続き国立公園内の道路として良好な景観の確保を図る。	国土交通省	●	●	●	●	●

＜各ビューポイントを含めた広域＞						
取組	実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
ステップアッププログラムが阿寒 摩周 国立公園満喫プロジェクトを進める上でのマスタープランとして機能するよう、定期的に各プロジェクトの進捗状況を把握し、考え方の整理や内容の充実等を図っていく。	阿寒 摩周 国立公園満喫プロジェクト地域協議会	●	●	●	●	●
2017(平成29)年度までに、阿寒国立公園の名称を「阿寒摩周国立公園」に変更する。	環境省	●	●			
2020(平成32)年度までに、国立公園内及び周辺観光地も含めた広域的な視点での長期滞在の促進を目的として、それぞれの地域の特色や魅力を生かしたロングトレイルやサイクリングロードの設定等について検討し、その結果を踏まえ設定等を進める。	環境省、国土交通省、林野庁、北海道、阿寒 摩周 国立公園広域観光協議会		●	●	●	●
多言語に対応した解説看板や標識等については、関係者相互に連携を図り、阿寒 摩周 国立公園の特色を踏まえつつ統一的なデザインとなるような整備等を行う。	阿寒 摩周 国立公園満喫プロジェクト地域協議会	●	●	●	●	●
施設の整備等を行う際には、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえつつ、施設の目的や設置場所、想定される利用形態等に応じて対応する。	阿寒 摩周 国立公園満喫プロジェクト地域協議会	●	●	●	●	●
国立公園区域外の利用拠点や観光資源も含めたツアーの造成や効果的なPRを行う等、地域一体となった取組を進める。	阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会			●	●	●

＜プロモーション＞						
取組	実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
2016(平成28)年度までに、日本の国立公園を魅力的なコンテンツとして全世界に発信するためのブランディング戦略(仮称)を策定するとともに、そのブランドイメージを視覚化するための国立公園マーク(仮称)を作成する。	環境省	●				
2017(平成29)年度までに、以上のブランディング戦略(仮称)等を踏まえ、阿寒 摩周 国立公園におけるインバウンドの増加を図るためのプロモーション戦略(仮称)をとりまとめる。	環境省	●	●			
2017(平成29)年度までに、以上のブランディング戦略(仮称)及びプロモーション戦略(仮称)等を踏まえ、阿寒 摩周 国立公園の魅力等を情報発信するためのプロモーション動画を作製し、ターゲットへの訴求力の高い海外メディア等を活用したプロモーションを行う。	環境省	●	●			
2020(平成32)年度までに、以上のブランディング戦略(仮称)及びプロモーション戦略(仮称)等を踏まえ、広域観光周遊ルート事業やビジット・ジャパン事業、道東エリアの国立公園(知床、釧路湿原)、国立公園区域外の利用拠点等とも等々連携し、具体的なプロモーション(日本政府観光局(JNTO)等と連携したプロモーション、ファミトリップ、外国人利用者の視点に立ったガイドブックの作成やホームページの開設・更新、外国人を含めた利用者向けのプロジェクションマッピング等)を進める。	環境省、国土交通省、経済産業省、北海道、北海道観光振興機構、阿寒 摩周 国立公園広域観光協議会		●	●	●	●

＜阿寒湖＞								
取組			実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
ア)多様なサービスの提供のための民間活用								
	a)公共施設等の民間開放	2017(平成29)年度までに、阿寒湖畔エコミュージアムセンターにおけるカフェやツアーデスクの併設など民間開放のあり方を検討する。	環境省	●	●			
	b)上質な宿泊施設の誘致	2020(平成32)年度までに、利用者層の幅を広げるため、地域合意を得ながら富裕者層をターゲットとした宿泊施設の誘致及び同施設への利用者の受入れ環境整備について検討を進める。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構	●	●	●	●	●
	c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017(平成29)年度までに、阿寒湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省	●	●			
		2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラム(阿寒湖のマリモ観察ガイドツアー、大島へのカヌーツアー、栈橋の活用等を含めた湖上クルーズの魅力向上プログラム、阿寒湖温泉街のまち歩きによる魅力向上プログラム等)の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向けた検討を行う。	経済産業省、阿寒観光協会まちづくり推進機構、前田一步園財団、自然公園財団阿寒湖支部		●	●	●	●
		2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、利用者にアイヌ文化への関心や理解を深めてもらうため、アイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラム等の開発・実施を図る。	阿寒観光協会まちづくり推進機構、阿寒アイヌ工芸協同組合		●	●	●	●
d)利用料等の公園管理への活用	2020(平成32)年度までに、阿寒湖畔における駐車場利用に係る協力金について、阿寒湖畔の魅力向上のための用途等を検討する。	自然公園財団阿寒湖支部		●	●	●	●	
イ)まちなみ等の景観改善		2020(平成32)年度までに、アイヌコタンの魅力向上を含めた阿寒湖温泉街におけるまちなみ景観の改善手法(景観に関する地域のルールづくり等)を検討し、その結果を踏まえ改善を進める。	釧路市、阿寒湖温泉地区景観協議会、阿寒観光協会まちづくり推進機構、前田一步園財団、阿寒アイヌ工芸協同組合	●	●	●	●	●
ウ)質の高い利用環境を提供するための施設整備等		2017(平成29)年度までに、阿寒湖畔集団施設地区における既存の整備関連計画の見直しを行い、新たな整備基本計画としてとりまとめる。	環境省	●	●			
		2020(平成32)年度までに、以上の整備基本計画に基づき、阿寒湖畔園地内の歩道の再整備、新たな魅力地点につながる歩道(阿寒湖畔滝口線)の新設、阿寒湖畔エコミュージアムセンターの再整備、ICTを用いた多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●	●
		2017(平成29)年度までに、阿寒湖畔集団施設地区の公衆トイレの改修等や阿寒湖畔野営場の再整備等を行う。	北海道	●	●			
		2017(平成29)年度までに、雌阿寒岳登山線(白湯山)の再整備等を行う。	北海道	●	●			
		2020(平成32)年度までに、白湯山展望台の再整備等について検討を進める。	釧路市			●	●	●
		2020(平成32)年度までに、阿寒湖温泉街の玄関口となるフォレストガーデンの整備を進め、駐車場等の一部供用を開始する。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構	●	●	●	●	●
		2020(平成32)年度までに、アイヌ文化発信拠点としての阿寒湖アイヌシアターイコロや、仮称アイヌアートミュージアム等(既存施設の活用を含めて検討)を活用した、阿寒湖アイヌコタンにおける「歴史文化交流ゾーン」の形成について検討を進める。	内閣官房、環境省、北海道、釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構 等		●	●	●	●
		2020(平成32)年度までに、阿寒湖畔スキー場のコース拡幅や夏季利用の推進、眺望の優れた場所へのカフェの誘致、ユニバーサルデザインの視点に立った整備など、魅力向上に向けた検討を進める。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構		●	●	●	●
		2020(平成32)年度までに、阿寒湖のマリモ展示観察センターの魅力向上に向けた検討を進める。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構		●	●	●	●
		2020(平成32)年度までに、双湖台園地の再整備等について検討を進める。	環境省、北海道、釧路市		●	●	●	●
		2020(平成32)年度までに、前田公園の再整備等について検討を進める。	北海道、釧路市		●	●	●	●
		2020(平成32)年度までに、阿寒湖まりむ館の観光案内所における外国人利用者への観光情報提供サービスの充実化に向けた取組を行う。	釧路市		●	●	●	●
エ)その他		阿寒湖と周辺湖沼群の世界自然遺産認定に向けた活動を推進する。	釧路市	●	●	●	●	●

＜オンネトー・雌阿寒岳＞								
取組			実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
ア)多様なサービスの提供のための民間活用								
	a)公共施設等の民間開放	2020(平成32)年度までに、雌阿寒温泉園地及びオンネトー園地を中心として、雌阿寒岳等を含めた周辺地域の情報提供やガイドセンターの機能を担うインフォメーションセンター等の設置について、民間団体等による管理運営を含めた検討を行い、その結果を踏まえ取組を進める。	環境省、北海道、足寄町	●	●	●	●	●
	b)上質な宿泊施設の誘致	2020(平成32)年度までに、オンネトー国設野営場の民間経営委託及びグランピングなど富裕者層もターゲットにした事業モデルを検討し、その結果を踏まえ取組を進める。	足寄町 等		●	●	●	●
	c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017(平成29)年度までに、オンネトー・雌阿寒岳において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省	●	●			
		2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、雌阿寒温泉園地、オンネトー園地、国設野営場地区、雌阿寒岳、オンネトー湯の滝等において具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向けた検討を行う。	足寄町、あしよる観光協会 等		●	●	●	●
	d)利用料等の公園管理への活用	2020(平成32)年度までに、雌阿寒温泉園地及びオンネトー園地等における駐車場利用に係る協力金の導入について検討する。	環境省、北海道、足寄町		●	●	●	●
イ)まちなみ等の景観改善		—						
ウ)質の高い利用環境を提供するための施設整備等		2020(平成32)年度までに、オンネトー園地及び雌阿寒温泉園地における再整備等のあり方を検討し、その結果を踏まえ再整備等を進める。	環境省、北海道、足寄町		●	●	●	●
		2018(平成30)年度までに、道道オンネトー線について、歩道柵の再整備を進める。	北海道		●	●		
		2020(平成32)年度までに、雌阿寒温泉園地における施設の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	足寄町				●	●

＜川湯温泉・硫黄山＞								
取組		実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	
ア)多様なサービスの提供のための民間活用								
a)公共施設等の民間開放	2017(平成29)年度までに、川湯エコミュージアムセンターにおけるカフェやツアーデスクの併設など民間開放のあり方を検討する。	環境省	●	●				
b)上質な宿泊施設の誘致	2020(平成32)年度までに、川湯温泉街のまちなみ景観の改善手法の検討の一環として、富裕者層をターゲットとした宿泊施設の誘致の可能性についても検討を進める。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒 摩周 国立公園川湯地域運営協会		●	●	●	●	
c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017(平成29)年度までに、川湯温泉・硫黄山において適切な利用を推進するためのあり方について、硫黄山の歴史や必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省	●	●				
	2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラム(川湯エコミュージアムセンター周辺や旧川湯スキー場跡地、硫黄山周辺等を活用した通年アクティビティー等)の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒 摩周 国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部 等		●	●	●	●	
d)利用料等の公園管理への活用	2020(平成32)年度までに、硫黄山における駐車場利用に係る協力金について、硫黄山の魅力向上のための用途等を検討する。	自然公園財団川湯支部		●	●	●	●	
イ)まちなみ等の景観改善	2020(平成32)年度までに、川湯温泉街のまちなみ景観について「森の中にある温泉街」をコンセプトとした改善手法(廃業した宿泊施設及び土産店等の撤去方法を含む)を検討し、自然滞在型の温泉保養地(ネイチャーリゾート)への再生に取り組む。	環境省、北海道、弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒 摩周 国立公園川湯地域運営協会	●	●	●	●	●	
ウ)質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2017(平成29)年度までに、川湯集団施設地区の整備基本計画をとりまとめる。	環境省	●	●				
	2019(平成31)年度までに、以上の整備基本計画に基づき、川湯園地内の歩道の再整備、川湯エコミュージアムセンターの再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●		
	2019(平成31)年度までに、つつじヶ原探勝路の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●		
	2020(平成32)年度までに、道道屈斜路摩周湖畔線について、歩道の整備及び歩道柵の再整備を進める。	北海道	●	●	●	●	●	

＜摩周湖＞								
取組		実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	
ア)多様なサービスの提供のための民間活用								
a)公共施設等の民間開放	2018(平成30)年度までに摩周第1展望台へのカフェの併設など民間開放のあり方を検討する。	環境省、北海道、弟子屈町、摩周湖観光協会		●	●			
b)上質な宿泊施設の誘致	—							
c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017(平成29)年度までに、摩周湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省	●	●				
	2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、摩周カルデラ北部外輪山及びその山麓域における利用のあり方を検討し、具体的なツアー・プログラムの開発を進める。	清里町、きよさと観光協会		●	●	●	●	
	2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒 摩周 国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部 等		●	●	●	●	
	2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図る。	標茶町、中標津町、標茶町観光協会、なかしべつ観光協会、自然公園財団川湯支部 等		●	●	●	●	
d)利用料等の公園管理への活用	2020(平成32)年度までに、摩周湖における駐車場利用に係る協力金について、摩周湖の魅力向上のための用途等を検討する。	自然公園財団川湯支部		●	●	●	●	
イ)まちなみ等の景観改善	—							
ウ)質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2020(平成32)年度までに、ア)a)の民間開放のあり方の検討状況を踏まえつつ、摩周第1展望台、摩周第3展望台、裏摩周展望台の再整備等のあり方を検討し、その結果を踏まえ再整備等を進める。	環境省、北海道、清里町、弟子屈町		●	●	●	●	
	2017(平成29)年度までに、摩周第一園地の公衆トイレの改修等を行う。	北海道	●	●				
	摩周岳や西別岳に至る登山道について、引き続き関係者の協力を得つつ維持管理等を行う。	環境省、標茶町、弟子屈町	●	●	●	●	●	
	2020(平成32)年度までに、神の子池周辺について観光客の利便性と環境保護の双方の観点を踏まえつつ、整備に向けて検討を進める。	清里町			●	●	●	

<屈斜路湖>								
取組		実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	
ア)多様なサービスの提供のための民間活用								
a)公共施設等の民間開放	—							
b)上質な宿泊施設の誘致	—							
c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017(平成29)年度までに、屈斜路湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省、弟子屈町	●	●				
	2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、美幌峠の雲海のツアー・プログラムの開発・実施、ガイドの育成を図る。	美幌町、美幌観光物産協会		●	●	●	●	
	2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、釧路川へのカヌーツアー、コタン地区におけるアイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラム等の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒 摩 周国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部 等		●	●	●	●	
	2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図る。	津別町、小清水町、大空町、津別観光協会、小清水町観光協会、 オ ホーツク大空町観光協会、自然公園財団川湯支部 等		●	●	●	●	
d)利用料等の公園管理への活用	—							
イ)まちなみ等の景観改善	—							
ウ)質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2017(平成29)年度までに、和琴集団施設地区の整備基本計画をとりまとめる。	環境省	●	●				
	2019(平成31)年度までに、以上の整備基本計画に基づき、和琴園地内の歩道やキャンプ場の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●		
	2017(平成29)年度までに、砂湯野営場の再整備等を行う。	北海道	●	●				
	2017(平成29)年度までに、美幌峠園地の再整備等を行う。	北海道	●	●				
	2018(平成30)年度までに、屈斜路カルデラ外輪山に位置し、阿寒 摩 周国立公園のエントランスとしても重要な「道の駅ぐるっとパノラマ美幌峠」のレストハウスにおいて、多言語に対応した解説看板や標識、情報発信のための情報端末機器等の整備を行う。また、美幌峠の景観を楽しみながら休憩できる環境の整備を行う。	美幌町		●	●			
	2020(平成32)年度までに、コタン地区における公衆トイレの改修等について検討する。	弟子屈町		●	●	●	●	
	2020(平成32)年度までに、釧路川へのカヌー利用の状況等を踏まえ、スタート地点となる釧路川源流部における整備等のあり方を検討し、その結果を踏まえ整備等を進める。	弟子屈町、摩周湖観光協会等		●	●	●	●	
	2017(平成29)年度までに、藻琴山東斜面野営場の再整備等を行う。	小清水町		●				
	2017(平成29)年度までに、藻琴山八合目園地の再整備等を行う。	小清水町		●				

6. 効果検証

Step up Program 2020 >

(1) 訪日外国人利用者数

国立公園別訪日外国人実利用者数推計値（環境省）を基に、阿寒~~摩周~~国立公園における毎年の訪日外国人来訪者数を把握し、国立公園利用者数（環境省）の状況等を踏まえつつ効果の検証を行う。

(2) プロジェクトの進捗状況

阿寒~~摩周~~国立公園満喫プロジェクト地域協議会を定期的に開催し、ステップアッププログラムにおける各プロジェクト（アクセスルートに係る事項、阿寒~~摩周~~国立公園内に係る事項、プロモーションに係る事項）の進捗状況を把握し、それらの効果の検証を行う。

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：釧路市

<ステップアッププログラム2020における記述>

5. (1). 2) アクセスルート上で実施する事項

・2020(平成32)年までに、道の駅「阿寒丹頂の里」において、多言語に対応した解説看板やサイン類の整備等を行う。

<取組名>

道の駅「阿寒丹頂の里」における多言語対応

<場 所>

道の駅「阿寒丹頂の里」

<概 要>

2016(平成28)年度のインフォメーション施設新築移転の際に、多言語に対応した看板やサインを整備

<今後の予定>

利用者のニーズに応じた表記を継続して実施する



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：環境省

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■阿寒湖 ア) c) ツアー・プログラム開発とガイド育成

- ・2017(平成29)年度までに、阿寒湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。等

＜取組名＞

利用推進調査検討業務

＜場 所＞

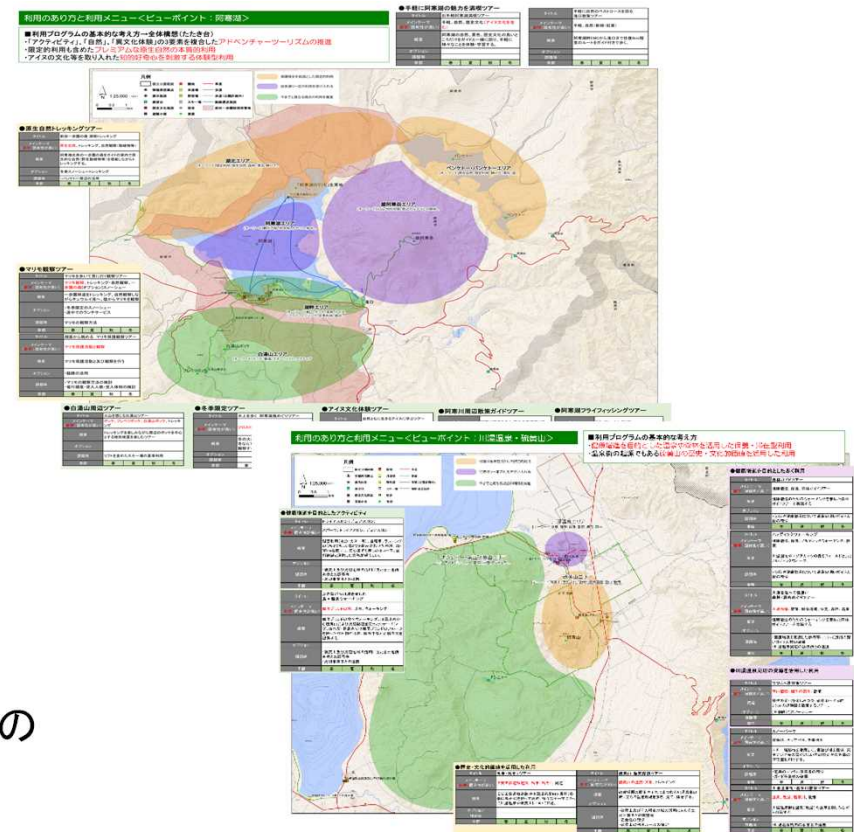
ビューポイント(重点取組地域)を含む阿寒摩周国立公園全域

＜概 要＞

阿寒摩周国立公園内のビューポイントにおける利用実態等に係る調査・分析、利用のあり方の検討、推進すべき利用メニューの検討等を行い、「利用のあり方に関する全体構想」をとりまとめ。

＜今後の予定＞

全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図る。



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：阿寒観光協会まちづくり推進機構、前田一步園財団、自然公園財団阿寒湖支部

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■阿寒湖 ア) c) ツアー・プログラム開発とガイド育成

2020(平成32)年度までに全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラム(阿寒湖のマリモ観察ガイドツアー、大島へのカヌーツアー、桟橋の活用等を含めた湖上クルーズの魅力向上プログラム、阿寒湖温泉街のまち歩きによる魅力向上プログラム等)の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向けた検討を行う。

＜取組名＞ マリモ自然生息地ガイドツアー事業
アドベンチャーツーリズムコンテンツ商品化事業
前田一步園財団の管理森林内の指定ガイド(森の案内人)等

＜場 所＞ 阿寒湖温泉及び周辺地域

＜概 要＞

- ・「マリモ観察ガイドツアー」「白湯山トレッキングツアー」「湖北地域のトレッキングツアー」等、アドベンチャーツーリズムの推進として、海外、特に欧米諸国の観光客の知的好奇心をターゲットとした利用プログラムの具体的なツアー内容、実施方法、料金、販売方法等を検討中。(阿寒観光協会まちづくり推進機構)
- ・阿寒湖畔の森林におけるアイヌの神話等をテーマとするデジタルアート(夜の森を舞台とした体験型テーマパーク)について、2019年度の実現に向けコンセプト、費用、運営体制等を構築中(阿寒観光協会まちづくり推進機構)
- ・上記を持続的・自立的に運営する民間組織(阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社)を2018年4月に設立予定。(阿寒観光協会まちづくり推進機構)
- ・前田一步園財団の管理森林内の指定ガイド(森の案内人)を新たに認定。(前田一步園財団)

＜今後の予定＞

- ・「白湯山トレッキングツアー」「湖北地域のトレッキングツアー」2018年冬、「夜の森を舞台とした体験型テーマパーク」2019年夏等、順次スタートに向け準備中。
- ・ガイドの外国人対応等スキルアップについてATTAと連携した研修を予定。



前田一步園財団指定ガイド「森の案内人」や招聘した専門家とともに、新しい利用プログラムの実地調査を実施

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名(一財)前田一步園財団

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■阿寒湖 ア) c) ツアー・プログラム開発とガイド育成

・具体的なツアー・プログラム(阿寒湖のマリモ観察ガイドツアー、～略～)の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向けた検討を行う。

＜取組名＞ ガイドの育成

＜場 所＞ 阿寒湖畔(前田一步園財団所有・管理森林)

＜概 要＞

・前田一步園財団の管理森林内の指定ガイド(森の案内人)の新たな認定については、これまで、視察研修や安全対策研修などを実施し、新たに7名を今年1月25日に認定。

＜今後の予定＞

・引き続き、参考となる取組を実施している地域の視察など、ガイド内容等の充実・向上に向けた取り組みをサポートする予定。



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：阿寒観光協会まちづくり推進機構、阿寒アイヌ工芸協同組合

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■阿寒湖 ア) C) ツアー・プログラム開発とガイド育成

2020(平成32)年度までに、全体構想等を踏まえ、利用者にアイヌ文化への関心や理解を深めてもらうため、アイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラム等の開発・実施を図る。

＜取組名＞ 阿寒パロコロプロジェクト 等

＜場 所＞ 阿寒湖温泉

＜概 要＞

- ・市の補助事業として、「阿寒パロコロプロジェクト」を進めている。具体的には、ガイドツアー等の体験コンテンツ開発、アイヌコタン・商店街空き店舗・ホテルロビー等のまちなかギャラリー設置、阿寒湖流接客術「阿寒湖パロコロスタイル」展開、制服などの衣装に使えるアイヌ文様をモチーフとしたデザイン開発、おもてなし傘の制作等を進めている。

＜今後の予定＞

- ・市の補助事業として「アイヌブランド化戦略」を2017年度中に策定。ステップアッププログラム2020、全体構想を踏まえながらガイドツアー等の体験コンテンツ開発等を進める。



チセでの飲食や体験プログラム、温泉街や周辺の自然地域でアイヌ文化を体験するガイドツアーを検討中

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名:環境省

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5.(2) 2) ③ ■阿寒湖 ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等

- ・2020(平成32)年度までに、以上の整備基本計画に基づき、阿寒湖畔園地内の歩道の再整備、新たな魅力地点につながる歩道(阿寒湖畔滝口線)の新設、阿寒湖畔エコミュージアムセンターの再整備、ICTを用いた多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う

＜取組名＞

阿寒湖畔滝口線歩道の新設

＜場 所＞

阿寒湖畔(釧路市阿寒町)

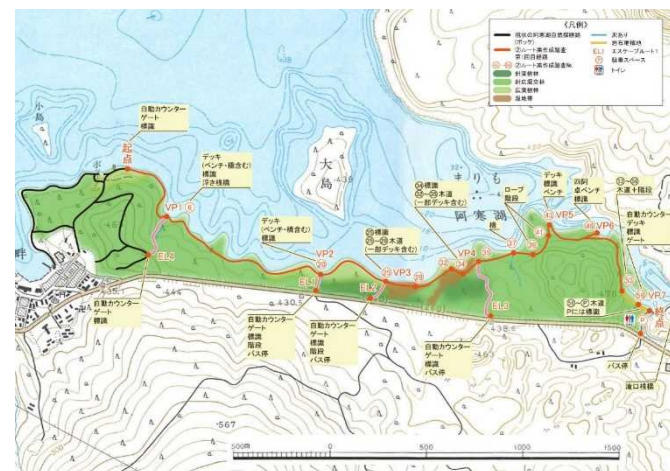
＜概 要＞

2018(H30)1月までにボッケから滝口までの環境調査を実施し、2018(H30)3月に基本計画をとりまとめ。

＜今後の予定＞

2018(H30)年度に基本設計を実施。

2019(H31)年度に実施設計を実施し、2020(H32)年度までに阿寒湖畔滝口線歩道の整備、供用を目指す。



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：北海道

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2). 2) ③ ■阿寒湖 ウ)質の高い利用環境を提供するための施設整備等
・2017(平成29)年度までに、公衆トイレ等の再整備を行う。

＜取組名＞

阿寒湖畔第一駐車場公衆トイレ、阿寒湖畔野営場、
雌阿寒岳登山線歩道改修工事を実施

＜概 要＞

老朽化した既存公衆トイレの便器を全て洋式化するとともに、
多目的トイレの機能の充実化など利用者ニーズに対応した
改修を行った。

雌阿寒岳登山線歩道については、木柵や歩道ほかを改修し、
安全対策を強化するとともに、標識類を多言語化する改修を
行った。

＜今後の予定＞



阿寒湖畔第一駐車場公衆トイレ



阿寒湖畔野営場公衆トイレ

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■阿寒湖 ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等

・2020(平成32)年度までに、アイヌ文化発信拠点としての阿寒湖アイヌシアターイコロや、仮称アイヌアートミュージアム等(既存施設の活用を含めて検討)を活用した、阿寒湖アイヌコタンにおける「歴史文化交流ゾーン」の形成について検討を進める。

＜取組名＞ アイヌ・ブランド化プロジェクト 等

＜場 所＞ 阿寒湖温泉

＜概 要＞

- ・市の補助事業として、「アイヌ・ブランド化プロジェクト」を進めている。具体的には、アイヌコタンを中心とした歴史文化ゾーンの整備、アイヌアートのまちづくり、アイヌ文化を基調としたプロダクト開発等を進めている。

＜今後の予定＞

- ・市の補助事業として「阿寒湖温泉ブランディング強化戦略」を2017年度中に策定。ステップアッププログラム2020、全体構想を踏まえながら、阿寒湖アイヌコタンにおける「歴史文化交流ゾーン」の形成を進める。



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■阿寒湖 ウ) 質の高い利用環境を提供するための多施設整備等

・2020(平成32)年度までに、阿寒湖畔スキー場のコース拡幅や夏季利用の推進、眺望の優れた場所へのカフェの誘致、ユニバーサルデザインの視点に立った整備など、魅力向上に向けた検討を進める。

＜取組名＞ 白湯山探勝路の国際的トレイル等のブランド化 等

＜場 所＞ 阿寒湖温泉・白湯山探勝路・
国設阿寒湖畔スキー場

＜概 要＞

- ・阿寒湖温泉から最も近接し、魅力の高いトレッキングコースとして「白湯山自然探勝路」を国際的なトレイルコースとしてブランディング。
- ・満喫プロジェクトにおいて同探勝路は2017年中に木道の修理完了、阿寒湖温泉で最もポピュラーな気軽でかつ世界的にも評価の高いトレッキングコースとして発信。
- ・スキー場の夏季利用を含めた各種施設のレベルアップを実現していく。

＜今後の予定＞

- ・白湯山麓及びその周辺エリアをアドベンチャーツーリズム振興の拠点として活用できるよう具体的に検討中。



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：環境省、北海道、足寄町

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③■オンネトー・雌阿寒岳ア) a) 公共施設等の民間開放
- ・2020(平成32)年度までに、雌阿寒温泉園地及びオンネトー園地を中心として、雌阿寒岳等を含めた周辺地域の情報提供やガイドセンターの機能を担うインフォメーションセンター等の設置について民間団体等による管理運営を含めた検討を行い、その結果を踏まえ取組を進める。(環境省、北海道、足寄町) 等

＜取組名＞オンネトーの魅力創造委員会(持続可能な利用と保全のあり方を検討。)

＜概要＞オンネトー・雌阿寒岳地域の魅力を最大限に引き出した新たな利用を検討する。

【キャッチフレーズ】「時がとまる湖・オンネトー」

＜これまでの取組＞平成29年5月に委員会設置。委員会の体制構築、当地域の利用促進における課題整理等に取り組んだ。

＜今後の予定＞

平成30年度は、ツーリズム、食、インフォメーションの3部会を設け、公園施設の機能や整備のあり方、ツアーガイドの育成、ガイドプログラムの試行、地域の飲食店と連携したテストツアー、市街地への誘導等について具体的な取組を進める。

ステップアッププログラムの達成に寄与

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会
(平成28年～)

阿寒摩周国立公園
ステップアッププログラム2020

■オンネトー・雌阿寒岳地区を「重点取組地域(ビューポイント)」に指定

オンネトーの魅力創造委員会

(平成29年～)

オンネトー・雌阿寒岳地区の総合的な利用のあり方について検討

ーツーリズム部会

ー食部会

ーインフォメーション部会

構成員：様々な分野で活躍する地域住民
事務局：環境省釧路自然環境事務所、北海道十勝総合振興局、足寄町

国立公園から足寄町
内外への
地域・経済の活性へ

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：環境省

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■川湯温泉・硫黄山 ア) a) 公共施設等の民間開放
・2017(平成29)年度までに、川湯エコミュージアムセンターにおけるカフェやツアーデスクの併設など民間開放のあり方を検討する。

＜取組名＞

川湯エコミュージアムセンターの民間開放

＜場 所＞

川湯エコミュージアムセンター(弟子屈町)

＜概 要＞

2017(H29)年11月に地元説明を行うなど、関係者との調整を進め、センター内に交流・休憩機能を有するカフェスペース及びツアーデスクの整備方針を決定。

＜今後の予定＞

2018(H30)年度前半までに、センター内を大幅改修。
2018(H30)年度中にカフェの試験運用を行い、事業者の公募要件等を整理した上で、公募を実施。
2019(H31)年度からの本格運用を目指す。



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会）

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5.（2） 2） ③ ■川湯温泉・硫黄山 ア)C) ツアープログラムの開発とガイド育成

- ・平成2020(平成32)年度までに、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。

＜取組名＞

- ・てしかがトレイルネットワーク整備事業

＜場 所＞

- ・川湯温泉、硫黄山

＜概 要＞

- ・アトサヌプリ(硫黄山)エコツアー(調査登山等)
- ・ルート設定、土地管理者との協議
- ・川湯スノーパーク構想調査(川湯園地周辺等)
- ・人材育成(スキルアップ講習会 6回開催)
- ・ヒグマ・アイヌ文化・リスクマネジメント・国立公園・ガイド論・火山、気象)



＜今後の予定＞

- ・硫黄山特定自然観光資源の指定(エコツーリズム推進全体構想の見直し)
- ・ツアーガイド育成講習会、ツアー運用マニュアルの策定、モニターツアーの実施、組織体制検討等

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：弟子屈町

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■川湯温泉・硫黄山 イ) まちなみ等の景観改善

・2020(平成32)年度までに、川湯温泉街のまちなみ景観について「森の中にある温泉街」をコンセプトとした改善手法(廃業した宿泊施設及び土産店等の撤去方法を含む)を検討し、自然滞在型の温泉保養地(ネイチャーリゾート)への再生に取り組む。

＜取組名＞

- ・川湯温泉地区景観整備構想
- ・多言語看板整備事業

＜場 所＞

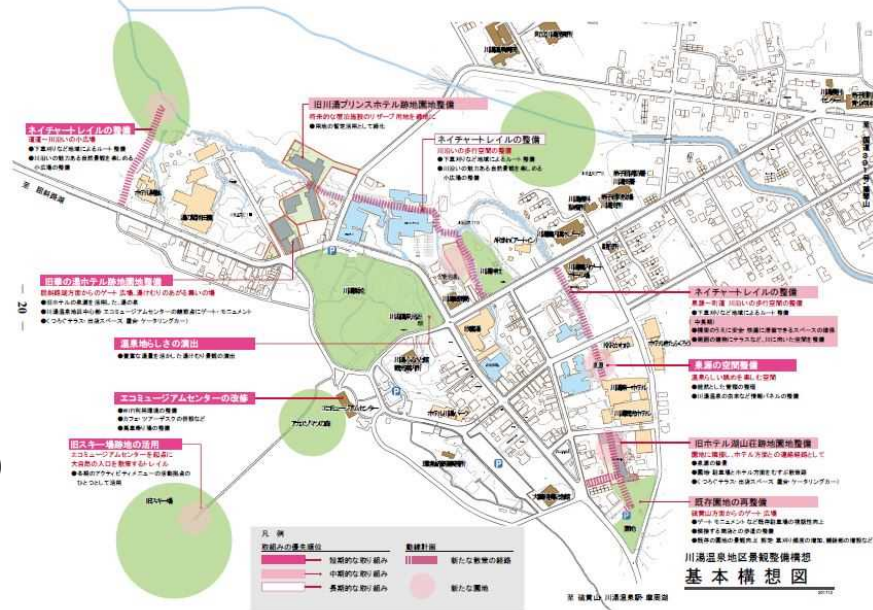
- ・川湯温泉、硫黄山

＜概 要＞

- ・地域関係者との協議(11回開催 H30.3現在)
- ・川湯温泉地区景観整備構想策定(H29.12)
- ・廃屋ホテル1棟、土地建物の所有権整理(H30.3)
- ・温泉川の清掃等・温泉街景観改善整備(街灯)
- ・多言語看板の設置及び見直し

＜今後の予定＞

- ・地域関係者との協議、温泉川の配管撤去等に向け改善手法の検討及び実施
- ・廃屋ホテル解体に向けての協議、自然滞在型温泉保養地への手法検討及び実施



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会）

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■摩周湖 ア) c) ツアープログラムの開発とガイド育成

・平成2020(平成32)年度までに、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。

＜取組名＞

・てしかがトレイルネットワーク整備事業

＜場 所＞

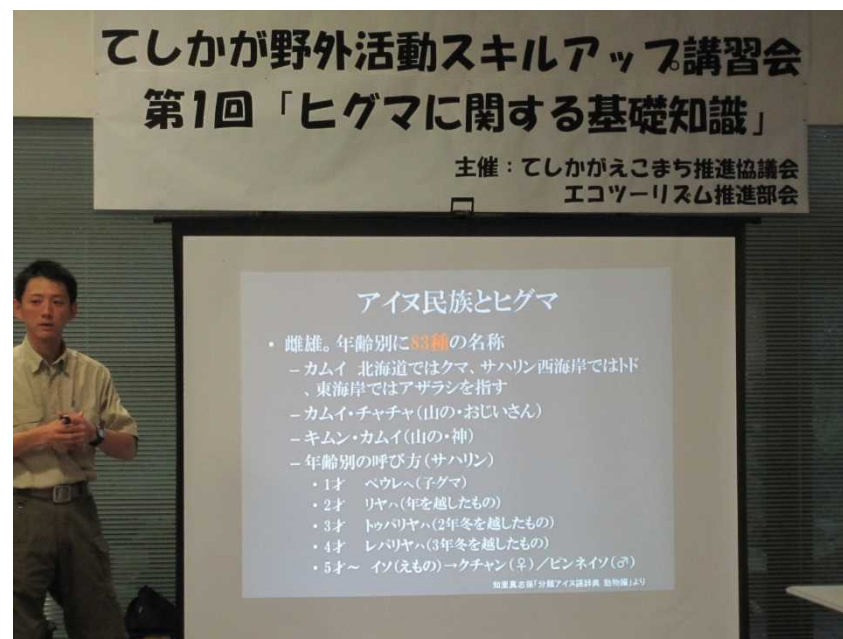
・摩周湖

＜概 要＞

- ・ロングトレイル勉強会
- ・人材育成(スキルアップ講習会 6回開催)
- ・ヒグマ・アイヌ文化・リスクマネジメント・国立公園・ガイド論・火山、気象)

＜今後の予定＞

- ・てしかがトレイルネットワーク整備構想を軸に、ロングトレイル実施地域としての具体化
- ・人材育成(スキルアップ講習会の実施、アイヌ、火山、歴史文化、英語等)



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：北海道

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■摩周湖 ウ)質の高い利用環境を提供するための施設整備事業
・2017(平成29)年度までに、摩周第一園地の公衆トイレの改修等を行う。

＜取組名＞

工事名：阿寒摩周国立公園

摩周第一園地公衆トイレ改修工事

＜場 所＞

川上郡弟子屈町摩周湖

＜概 要＞

老朽化した既存公衆トイレを改修
便器を全て洋式化するとともに、
多目的トイレ機能の充実化を図った。

＜今後の予定＞



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会）

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5.（2）2）③ ■屈斜路湖 ア）c） ツアープログラムの開発とガイド育成

- ・平成2020（平成32）年度までに、釧路川へのカヌーツアー、アイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。

＜取組名＞

- ・てしかがトレイルネットワーク整備事業

＜場 所＞

- ・屈斜路湖

＜概 要＞

- ・屈斜路湖トレイル、ルート調査8回実施（専門家招聘、部会員及び地域関係者）
- ・ロングトレイル勉強会
- ・人材育成（スキルアップ講習会 6回開催）
- ・ヒグマ・アイヌ文化・リスクマネジメント・国立公園・ガイド論・火山、気象）

＜今後の予定＞

- ・てしかがトレイルネットワーク整備構想を軸に、屈斜路湖トレイル実施地域としての具体化
- ・人材育成（スキルアップ講習会の実施、アイヌ、火山、歴史文化、英語等）
- ・レクリエーションの森事業との協働



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：北海道

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■屈斜路湖 ウ)質の高い利用環境を提供するための施設整備等
・2017(平成29)年度までに、砂湯野営場の再整備等を行う。

＜取組名＞

工事名：阿寒摩周国立公園

砂湯野営場公衆トイレほか改修工事

＜場 所＞

川上郡弟子屈町字美留和

＜概 要＞

老朽化した既存公衆トイレ・炊事棟ほかの改修
便器を全て洋式化するとともに、
管理棟を設けるなど、管理機能の充実化を
図った。

＜今後の予定＞



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：美幌町

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (2) 2) ③ ■ 屈斜路湖 ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等

- ・2018(平成30)年度までに、屈斜路カルデラ外輪山に位置し、阿寒国立公園のエントランスとしても重要な「道の駅ぐるっとパノラマ美幌峠」のレストハウスにおいて、多言語に対応した解説看板や標識、情報発信のための情報端末機器等の整備を行う。また、美幌峠の景観を楽しみながら休憩できる環境の整備を行う。

＜取組名＞

美幌峠園地整備事業

＜場 所＞

美幌峠レストハウス2階休憩スペース

＜概 要＞

老朽化による施設の改修及びインバウンドに対応した多言語による標識類の整備。

VRやARを活用したコンテンツの提供や、多言語に対応した映像を用いた情報発信のための施設整備。

＜今後の予定＞

整備したコンテンツを活用し、情報発信を行っていく。



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラム2020の進捗状況

実施機関・団体名：北海道運輸局・北海道経済産業局

＜ステップアッププログラム2020における記述＞

5. (3) プロモーションに係る事項

・2020(平成32)年度までに、以上のブランディング戦略(仮称)及びプロモーション戦略(仮称)等を踏まえ、広域観光周遊ルート事業やビジット・ジャパン事業、道東エリアの国立公園、国立公園区域外の利用拠点等とも連携し、具体的なプロモーションを進める。等

＜場 所＞ 北海道全域（特に国立公園エリア）

＜取組名＞ アドベンチャートラベル推進

＜概 要＞

- 北海道における窓口となる協議会（HATA）の設立（H29.6）
- ATTA会長の北海道視察と、ネットワーキングイベントである **Adventure Connect 実施**を開催し68名が参加（H29.9）
- ATTAの教育プログラムである **Adventure EDU を釧路市で開催**し87名が参加（H29.9.）
- 米国大手アドベンチャー旅行会社・メディアによる視察旅行の実施（H29.9-10）
- HATAのWEBサイトの構築 <http://hokkaido-adventuretravel.com/>（H29.10）
- ATTAの年次総会 **Adventure Travel World Summit**（アルゼンチン）への参加（H29.10）
- 上記教育プログラムを共有するためのセミナーを道内4カ所で開催し116名が参加（H29.12-H30-1）
- 英語で案内するガイド・トレーニングを実施（H30.2 阿寒7名、旭岳12名）
- 道東地域におけるA Tマーケティング戦略の策定（H30.3）

＜今後の予定＞

- **Adventure Travel World Summit**（イタリア）への参加（H30.10）
- ATTA関係者・アドベンチャー旅行会社・メディアによる視察旅行の実施
- **Adventure Connect 実施**
- モデルコースにおける多言語ネイチャーガイドの養成



Adventure Connect の様子



Adventure Edu の様子



ATWSにおけるPRの様子 19

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム 各取組の進捗状況等について

＜アクセスルート＞						
取組	実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
2017（平成29）年度までに、主要交通拠点の釧路空港において、阿寒摩周国立公園に誘導するための多言語に対応した案内板の設置等を行う。	環境省	●	●			
2018（平成30）年度までに、主要交通拠点の女満別空港及び中標津空港において、阿寒摩周国立公園に誘導するための多言語に対応した案内板の検討・設置等を行う。	環境省		●	●		
2020（平成32）年度までに、アクセスルート上の阿寒摩周国立公園の入口に、エントランス標識等を設置する。	環境省		●	●	●	●
阿寒摩周国立公園（仮称）への名称変更後、アクセスルート上の公園入口に設置されている標識の公園名称修正を行う。	国土交通省		●	●	●	●
2020（平成32）年度までに、道の駅「阿寒丹頂の里」において、多言語に対応した解説看板やサイン類の整備等を行う。	釧路市		●	●	●	●
2020（平成32）年度までに、主要交通拠点の3つの空港（釧路空港、女満別空港、中標津空港）及び新千歳空港からの二次交通の充実をはじめとした誘導策等を検討し、その結果を踏まえ充実を図る。	国土交通省、北海道、阿寒摩周国立公園広域観光協議会		●	●	●	●
2020（平成32）年度までに、阿寒摩周国立公園内外のアクセス強化を図るため、新千歳空港～オンネトー～阿寒湖温泉～J R 摩周駅～中標津空港、釧路空港～阿寒湖温泉～女満別空港、女満別空港～美幌峠～J R 摩周駅～中標津空港間における二次交通のアクセス強化に向けた検討を進める。	国土交通省、北海道、阿寒摩周国立公園広域観光協議会		●	●	●	●
阿寒摩周国立公園の阿寒地域と摩周地域を結ぶ「阿寒横断道路」は、国立公園の利用上重要なルートであるため、ルート上にある双湖台・双岳台の展望地を含め、引き続き国立公園内の道路として良好な景観の確保を図る。	国土交通省	●	●	●	●	●

＜各ビューポイントを含めた広域＞						
取組	実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
ステップアッププログラムが阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトを進める上でのマスタープランとして機能するよう、定期的に各プロジェクトの進捗状況を把握し、考え方の整理や内容の充実等を図っていく。	阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会	●	●	●	●	●
2017（平成29）年度までに、阿寒国立公園の名称を「阿寒摩周国立公園（仮称）」に変更する。	環境省	●	●			
2020（平成32）年度までに、国立公園内及び周辺観光地も含めた広域的な視点での長期滞在の促進を目的として、それぞれの地域の特色や魅力を生かしたロングトレイルやサイクリングロードの設定等について検討し、その結果を踏まえ設定等を進める。	環境省、国土交通省、林野庁、北海道、阿寒摩周国立公園広域観光協議会		●	●	●	●
多言語に対応した解説看板や標識等については、関係者相互に連携を図り、阿寒摩周国立公園の特色を踏まえつつ統一的なデザインとなるような整備等を行う。	阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会	●	●	●	●	●
施設の整備等を行う際には、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえつつ、施設の目的や設置場所、想定される利用形態等に応じて対応する。	阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会	●	●	●	●	●

<阿寒湖>									
取組		実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	進捗状況及び今後の予定	
ア) 多様なサービスの提供のための民間活用									
a)公共施設等の民間開放	2017(平成29)年度までに、阿寒湖畔エコミュージアムセンターにおけるツアーデスクの併設など民間開放のあり方を検討する。	環境省	●	●				・センター内の暖炉スペースの家具等をリニューアルし、ゆったりとくつろげる空間を創出(2017(平成29)年3月)。 ・現在、館内でのコーヒーの提供方法等について検討中。	
b)上質な宿泊施設の誘致	2020(平成32)年度までに、利用者層の幅を広げるため、地域合意を得ながら富裕層層をターゲットとした宿泊施設の誘致及び同施設への利用者の受け入れ環境整備について検討を進める。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構	●	●	●	●	●	・ATTA(※1)との緊密な連携の下にアドベンチャーツーリズム(AT)を基軸にした富裕層の誘致を情報収集、情報交換等を継続して実施中。国際的な山岳スキーリゾートにふさわしい、富裕層向けリゾート宿泊施設の実現に向け、世界ブランドのホテル誘致を引き続き継続。(阿寒観光協会まちづくり推進機構) ※1 Adventure Travel Trade Association の略 世界最大級のアドベンチャー・トラベル・サミットを主催する、1000会員を有するアドベンチャーツーリズムに関連する機関。	
c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017(平成29)年度までに、阿寒湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省	●	●				・2018(平成30)年2月に、阿寒摩周国立公園(全体、各ビューポイント)における利用のあり方に関する全体構想をとりまとめ。	
	2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラム(阿寒湖のマリモ観察ガイドツアー、大島へのカヌーツアー、棧橋の活用等を含めた湖上クルーズの魅力向上プログラム、阿寒湖温泉街のまち歩きによる魅力向上プログラム等)の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向けた検討を行う。	阿寒観光協会まちづくり推進機構、前田一步園財団、自然公園財団阿寒湖支部、 経済産業省		●	●	●	●	・「マリモ観察ガイドツアー」「白湯山トレッキングツアー」「湖北地域のトレッキングツアー」等、アドベンチャーツーリズムの推進として海外、特に欧米諸国の観光客をターゲットとした利用プログラムの具体的なツアー内容、実施方法、料金、販売方法を検討中。(阿寒観光協会まちづくり推進機構) ・阿寒湖畔の森林におけるアイヌの神話等をテーマとするデジタルアート(夜の森を舞台とした体験型テーマパーク)について、2019(平成31)年度の実現に向けコンセプト、費用、運営体制等を構築中(阿寒観光協会まちづくり推進機構) ・上記を持続的・自主的に運営する民間組織(阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社)を2018(平成30)年4月に設立予定。(阿寒観光協会まちづくり推進機構) ・「白湯山トレッキングツアー」「湖北地域のトレッキングツアー」2018(平成30)年冬、「夜の森を舞台とした体験型テーマパーク」2019(平成31)年夏等、順次スタートに向け準備中。ガイドの外国人対応等スキルアップについてATTAと連携した研修を予定。(阿寒観光協会まちづくり推進機構) ・前田一步園財団の管理森林内の指定ガイド(森の案内人)の新たな認定については、これまで、視察研修や安全対策研修などを実施し、新たに7名を2018(平成30)年1月25日に認定したところ。引き続き、参考となる取組を実施している地域の視察など、ガイド内容の充実・向上に向けた取組をサポートする予定。(前田一步園財団) ・アドベンチャーツーリズムの市場獲得のため、ATTAとのネットワークを構築し、地域の事業者等と連携し、AT観光客向けツアープログラムを検討中。(経済産業省)	
	2020(平成32)年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、利用者にアイヌ文化への関心や理解を深めてもらうため、アイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラム等の開発・実施を図る。	阿寒観光協会まちづくり推進機構、阿寒アイヌ工芸協同組合		●	●	●	●	・「阿寒バロコプロジェクト」として、ガイドツアー等の体験コンテンツ開発、アイヌコタン・商店街空き店舗・ホテルロビー等のまちなかギャラリー設置、阿寒湖流接客術「阿寒湖バロコスタイル」展開、制服などの衣装に使えるアイヌ文様をモチーフとしたデザイン開発、おもてなし傘の制作等を実施中。(阿寒観光協会まちづくり推進機構) ・「アイヌブランド化戦略」を2017(平成29)年度に策定。ステップアッププログラム2020、全体構想を踏まえながらガイドツアー等の体験コンテンツ開発等を進める。(阿寒観光協会まちづくり推進機構) ・阿寒湖アイヌコタンではアイヌ文化を活用したツアープログラムの企画開発を実施中。 ・ユウカラ街道としてアイヌ文化広域周遊ツアーの実施を検討中。広域との連携を取りつつ、具体的な提供プログラムの検討を開始。	
d)利用料等の公園管理への活用	2020(平成32)年度までに、阿寒湖畔における駐車場利用に係る協力金について、阿寒湖畔の魅力向上のための用途等を検討する。	自然公園財団阿寒湖支部		●	●	●	●	・2017(平成29)年度中に、阿寒湖畔園地、ボッケ遊歩道等を中心にフットライトの整備を実施。また、次年度、既存施設(料金所、欄等)の老朽化対策も実施予定。	
イ) まちなみ等の景観改善	2020(平成32)年度までに、アイヌコタンの魅力向上を含めた阿寒湖温泉街におけるまちなみ景観の改善手法(景観に関する地域のルールづくり等)を検討し、その結果を踏まえ改善を進める。	釧路市、阿寒湖温泉地区景観協議会、阿寒観光協会まちづくり推進機構、前田一步園財団、阿寒アイヌ工芸協同組合	●	●	●	●	●	・阿寒湖温泉地区景観協議会において、温泉街の景観改善(サイン、看板、ベンチ等の再塗装)を2017(平成29)年度も実施した。 ・観光庁とも連携し、商店街におけるシャッターアート等、アイヌ文化を基調とした景観づくりである「アイヌアートまちなかミュージアム」を推進中。 ・阿寒湖温泉地区のまちなみをアイヌ文化を活用した「異日常」のおもてなし空間づくりを進める取組を実施中。 ・阿寒湖温泉におけるアイヌ文様等の使用について、商店等を対象とした冊子「アイヌ文化を活かした景観デザインの手引き」(2018(平成30)年3月策定)を踏まえ、まちなみ景観の改善を進める。 ・「アイヌ・ブランド化プロジェクト」として、アイヌコタンを中心とした歴史文化ゾーンの整備、アイヌアートのまちづくり、アイヌ文化を基調としたプロダクト開発等を実施中。(阿寒観光協会まちづくり推進機構) ・「アイヌブランド化戦略」を2017(平成29)年度に策定。ステップアッププログラム2020、全体構想を踏まえながらアイヌコタンの魅力向上を含めた阿寒湖温泉街におけるまちなみ景観の改善手法(景観に関する地域のルールづくり等)を検討し、その結果を踏まえ改善を進める。(阿寒観光協会まちづくり推進機構)	
ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2017(平成29)年度までに、阿寒湖畔集団施設地区における既存の整備関連計画の見直しを行い、新たな整備基本計画としてとりまとめる。	環境省	●	●				・2018(平成30)年3月に、阿寒湖畔集団施設地区における整備基本計画をとりまとめ。	

	2020（平成32）年度までに、以上の整備基本計画に基づき、阿寒湖畔園地内の歩道の再整備、新たな魅力地点につながる歩道（阿寒湖畔滝口線）の新設、阿寒湖畔エコミュージアムセンターの再整備、ICTを用いた多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●	●	・阿寒湖畔園地内のボッケ遊歩道については、2017（平成29）年度に再整備完了。 ・新たな魅力地点につながる歩道（阿寒湖畔滝口線）については、2016（平成28）年度に自然公園法に基づく公園事業の決定を実施。2017（平成29）年度は、環境調査を実施し、さらに基本計画を策定。2018（平成30）年度は、基本設計を実施予定。 ・阿寒湖畔エコミュージアムセンターについては、2017（平成29）年度に水槽展示を改修し、プロジェクター等映像設備を導入。2018（平成30年）は一部展示を多言語化する予定。 ・2017（平成29）年度に、阿寒湖畔園地の公衆トイレの再整備等を完了。
	2017（平成29）年度までに、阿寒湖畔集団施設地区の公衆トイレの改修等や阿寒湖畔野営場の再整備等を行う。	北海道	●	●				・2017（平成29）年度に、阿寒湖畔第一駐車場及び阿寒湖畔野営場について、公衆トイレの再整備等を実施。
	2017（平成29）年度までに、雌阿寒岳登山線（白湯山）の再整備等を行う。	北海道	●	●				・2017（平成29）年度に、安全対策及び多言語対応標識の整備を実施。
	2020（平成32）年度までに、阿寒湖温泉街の玄関口となるフォレストガーデンの整備を進め、駐車場等の一部供用を開始する。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構	●	●	●	●	●	・2017（平成29）年度よりフォレストガーデン第1期工事（駐車場整備工事）に着工し、2018（平成30）年夏頃より一部供用開始する予定。（阿寒観光協会まちづくり推進機構）
	2020（平成32）年度までに、アイヌ文化発信拠点としての阿寒湖アイヌシアターイコロや、仮称アイヌアートミュージアム等（既存施設の活用を含めて検討）を活用した、阿寒湖アイヌコタンにおける「歴史文化交流ゾーン」の形成について検討を進める。	内閣官房、環境省、北海道、釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構等		●	●	●	●	・観光庁とも連携し、商店街におけるシャッターアート等、アイヌ文化を基調とした景観づくりである「街中アイヌアート」を推進中。（再掲） ・阿寒湖温泉地区のまちなみをアイヌ文化を活用した「異日常」のおもてなし空間づくりを進める取組を実施中。（再掲） ・「アイヌブランド化戦略」を2017（平成29）年度に策定。ステップアッププログラム2020、全体構想を踏まえながら、阿寒湖アイヌコタンにおける「歴史文化交流ゾーン」の形成を進める。（阿寒観光協会まちづくり推進機構）
	2020（平成32）年度までに、阿寒湖畔スキー場のコース拡幅や夏季利用の推進、眺望の優れた場所へのカフェの誘致、ユニバーサルデザインの視点に立った整備など、魅力向上に向けた検討を進める。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構		●	●	●	●	・白湯山においては、2017（平成29）年中に木道の修理が完了することから、阿寒湖温泉で最もポピュラーな気軽でかつ世界的にも評価の高いトレッキングコースとして発信。スキー場の夏季利用を含めた各種施設のレベルアップを実現していく。 ・白湯山麓及びその周辺エリアをアドベンチャーツーリズム振興の拠点として活用できるよう具体的な活用方法等検討中。（阿寒観光協会まちづくり推進機構）
	2020（平成32）年度までに、阿寒湖のマリモ展示観察センターの魅力向上に向けた検討を進める。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構		●	●	●	●	・これまでの研究によって得られた新たな知見を展示内容に反映させることについて検討中。 ・「マリモの保護と活用に関するプロジェクトチーム」において、阿寒湖のマリモ観察ガイドツアーの実施に向けた検討とあわせて、マリモ展示観察センター、阿寒湖畔エコミュージアムセンター、チュウライ島の役割と機能のあり方について検討中。 ・展示内容や展示環境とともに、バリアフリー、トイレ等のリニューアル、冬季利用の検討（冬季のマリモ生息地観察ツアーの拠点利用）等についても検討する。（阿寒観光協会まちづくり推進機構）
	2020（平成32）年度までに、双湖台園地の再整備等について検討を進める。	環境省、北海道、釧路市		●	●	●	●	・再整備に向けた情報収集等を実施中。
	2020（平成32）年度までに、前田公園の再整備等について検討を進める。	北海道、釧路市		●	●	●	●	・2017（平成29）年度中に、老朽化したトイレの撤去を実施。
	2020（平成32）年度までに、阿寒湖まりむ館の観光案内所における外国人利用者への観光情報提供サービスの充実化に向けた取組を行う。	釧路市		●	●	●	●	・現在、阿寒湖まりむ館の観光案内所における「JNTO認定外国人観光案内所」のカテゴリーを、現行のⅠ→Ⅱにすべく検討中。（カテゴリーⅡの主なサービス内容：少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐し、広域観光案内を提供。）
エ）その他	阿寒湖と周辺湖沼群の世界自然遺産認定に向けた活動を推進する。	釧路市	●	●	●	●	●	・世界遺産認定に向けた活動の推進のための研究グループ立ち上げに向けた取組を実施中。

＜オンネトー・雌阿寒岳＞									
取組			実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	進捗状況及び今後の予定
ア) 多様なサービスの提供のための民間活用									
イ) まちなみ等の 景観改善	a)公共施設等の民間開放	2020（平成32）年度までに、雌阿寒温泉園地及びオンネトー園地を中心として、雌阿寒岳等を含めた周辺地域の情報提供やガイドセンターの機能を担うインフォメーションセンター等の設置について、民間団体等による管理運営を含めた検討を行い、その結果を踏まえ取組を進める。	環境省、北海道、足寄町	●	●	●	●	●	・2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」にて、既存施設に係る課題を抽出中。2018（平成30）年度は、施設毎の役割について整理し施設整備方針を固めるとともに、管理運営体制について関係機関にて検討する。
	b)上質な宿泊施設の誘致	2020（平成32）年度までに、オンネトー国設野営場の民間経営委託及びグランピングなど富裕層もターゲットにした事業モデルを検討し、その結果を踏まえ取組を進める。	足寄町 等		●	●	●	●	・2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」において、ディグランピングに係るイベント等の誘致を含め検討中。
	c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017（平成29）年度までに、オンネトー・雌阿寒岳において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省	●	●				・2018（平成30）年2月に、阿寒摩周国立公園（全体、各ビューポイント）における利用のあり方に関する全体構想をとりまとめ。 ・2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」において、当地域のキャッチフレーズを「時の止まる湖 オンネトー」と定め、豊かな自然環境の中で過ごす静かな時間と多様な体験の空間の魅力をより多くの利用者に伝えるため官民協働で取り組む。
		2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、雌阿寒温泉園地、オンネトー園地、国設野営場地区、雌阿寒岳、オンネトー湯の滝等において具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向けた検討を行う。	足寄町、あしろう観光協会 等		●	●	●	●	・2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」において、2018（平成30）年度はツアーガイド育成事業やテストツアー等を実施予定。
	d)利用料等の公園管理への活用	2020（平成32）年度までに、雌阿寒温泉園地及びオンネトー園地等における駐車場利用に係る協力金の導入について検討する。	環境省、北海道、足寄町		●	●	●	●	・2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」において検討中。今後も「オンネトー魅力創造委員会」にて、あり方について継続して検討を行う。
ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2020（平成32）年度までに、オンネトー園地及び雌阿寒温泉園地における再整備等のあり方を検討し、その結果を踏まえ再整備等を進める。	環境省、北海道、足寄町		●	●	●	●	・2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」にて、既存施設等に係る課題を抽出中。2018（平成30）年度は、再整備の方針を固める。	
	2018（平成30）年度までに、道道オンネトー線について、歩道柵の再整備を進める。	北海道		●	●			・2017（平成29）年度中に、再整備を予定したが、実施には至らず、今後の整備について検討中。	
	2020（平成32）年度までに、雌阿寒温泉園地における施設の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	足寄町			●	●	●	・2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」において検討した、結果を踏まえ、必要な看板改修等について整備を進める。	

＜川湯温泉・硫黄山＞									
取組		実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	進捗状況及び今後の予定	
ア) 多様なサービスの提供のための民間活用									
a)公共施設等の民間開放	2017（平成29）年度までに、川湯エコミュージアムセンターにおけるカフェやツアーデスクの併設など民間開放のあり方を検討する。	環境省	●	●				・地域住民を含めた関係者の意見を聴きつつ、川湯エコミュージアムセンターにおける利用のあり方について検討を実施。2018（平成30）年度中にセンター内部を改修予定。	
b)上質な宿泊施設の誘致	2020（平成32）年度までに、川湯温泉街のまちなみ景観の改善手法の検討の一環として、富裕層をターゲットとした宿泊施設の誘致の可能性についても検討を進める。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会		●	●	●	●	・弟子屈町を中心に地域関係者による打合せを行った結果、川湯温泉街の街路灯の整備を実施することとし、その具体的な取り組み方法について協議を実施中。 ・宿泊施設誘致については、整備基本計画を基に今後検討を進める。	
c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017（平成29）年度までに、川湯温泉・硫黄山において適切な利用を推進するためのあり方について、硫黄山の歴史や必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省	●	●				・2018（平成30）年2月に、阿寒摩周国立公園（全体、各ビューポイント）における利用のあり方に関する全体構想をとりまとめ。	
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラム（川湯エコミュージアムセンター周辺や旧川湯スキー場跡地、硫黄山周辺等を活用した通年アクティビティ等）の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえて検討を行う。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部等			●	●	●	●	・冬季の観光利用として、旧川湯スキー場跡地を活用したスノーパーク設置検討のため、栃木県日光市、那須町の視察を実施。 ・硫黄山の登山道の再開（エコツアーの実施）に向けて、専門家や関係者を交えて現地確認を踏まえ登山ルートを設定。現在土地所有者と協議を実施中。2018（平成30）年2月に、アトサヌプリ火山防災協議会へ事業内容及び安全対策の説明を実施。 ・屈斜路湖畔の林道等を活用したロングトレイル（湖一周、川湯温泉～美幌峠）について、専門家や関係者を交えて、現地調査等を行い最適な利用のあり方やルート、維持管理の仕組みを検討中。 ・観光客への案内対応の向上を図るため、ホテルの従業員が釧路川カヌーツアーを体験するなど、ガイドと民間宿泊の従業員と連携強化。 ・ガイドを対象とした講習会について年間スケジュールを作成し、それを基にガイド育成を年6回開催（ヒグマ・アイヌ文化・リスクマネジメント・国立公園・ガイド論・火山、気象）。 ・「ロングトレイル勉強会」を、他の近隣市町村を交えて開催した。 （以上、弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会）） ・2017（平成29）年10月にONSENガストロノミーウォーキング（新たな旅行の在り方・めぐる＋食べる＋つかる）を実施。来年度も継続開催し、商品化も併せて検討。（摩周湖観光協会） ・川湯温泉街の景観改善に向けて、観光客の目線で現地踏査を実施。廃屋等の状況も確認。（阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会） ・川湯温泉街から屈斜路湖に流れる温泉川及び湯川の景観改善及びツアー・プログラムの検討に向けて現地踏査を実施。 （阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会） ・2017（平成29）年度中に「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」について、実際の運用や体制構築に向けた見直しを検討。 （弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会））
d)利用料等の公園管理への活用	2020（平成32）年度までに、硫黄山における駐車場利用に係る協力金について、硫黄山の魅力向上のための用途等を検討する。	自然公園財団川湯支部		●	●	●	●	・老朽化した施設の簡易な修繕や補修、施設の美化清掃及び維持管理を実施。 ・硫黄山駐車場のチケットハウスの屋根・壁を塗装し景観を整える。2018（平成30）年4月に実施予定。 ・自然観察会用の雨具レンタル事業を実施する。2018（平成30）年4月に実施予定。	
イ) まちなみ等の景観改善	2020（平成32）年度までに、川湯温泉街のまちなみ景観について「森の中にある温泉街」をコンセプトとした改善手法（廃業した宿泊施設及び土産店等の撤去方法を含む）を検討し、自然滞在型の温泉保養地（ネイチャールゾート）への再生に取り組む。	環境省、北海道、弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会	●	●	●	●	●	・弟子屈町を中心に地域関係者による打ち合わせを行い、川湯温泉街の再生に向けた各種取組について検討中。（再掲） ・川湯温泉街の景観改善に向けて、観光客の目線で現地踏査を実施。廃屋等の状況も確認。（阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会）（再掲） ・2017（平成29）年12月に廃屋撤去後の跡地利用に関し整備計画を策定。また、他の廃屋施設も撤去方法等について関係機関と調整を図りながら検討している。2018（平成30）年3月までに、撤去予定の廃屋1棟について土地と建物の所有権を整理。（弟子屈町） ・温泉川の清掃、配管撤去に向け改善手法を検討し実施予定。（弟子屈町、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会） ・駐車場表示など、川湯温泉街の改善点について協議。（北海道、摩周湖観光協会） ・廃ホテル周辺の温泉川について、関係者による清掃について協議実施。（釧路振興局、摩周湖観光協会） ・川湯温泉の方向性に係る講演会及びヘルスツーリズムに係る研修会を川湯温泉で実施。（北海道）	
ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2017（平成29）年度までに、川湯集団施設地区の整備基本計画をとりまとめる。	環境省	●	●				・2018（平成30）年3月に、川湯集団施設地区の整備基本計画をとりまとめ。	
	2019（平成31）年度までに、以上の整備基本計画に基づき、川湯園地内の歩道の再整備、川湯エコミュージアムセンターの再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●		・川湯エコミュージアムセンターにおいて、上質な利用環境を提供するための展示内容の更新や改修等の再整備を検討中。2018（平成30）年度に着工予定。 ・川湯園地内の歩道、解説看板及び標識の再整備を検討中。	
	2019（平成31）年度までに、つつじヶ原探勝路の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●		・2017（平成29）年度中に、つつじヶ原探勝路の再整備及びICTを活用した多言語について検討を実施。2018（平成30）年度に解説看板等を着工予定。	
	2020（平成32）年度までに、道道屈斜路摩周湖畔線について、歩道の整備及び歩道柵の再整備を進める。	北海道	●	●	●	●	●	・2017（平成29）年度に、歩道柵の一部区間を実施、2018（平成30）年度に歩道の整備を含む再整備完了予定。	

<摩周湖>									
取組		実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	進捗状況及び今後の予定	
ア) 多様なサービスの提供のための民間活用									
a)公共施設等の民間開放	2018（平成30）年度までに摩周第1展望台へのカフェの併設など民間開放のあり方を検討する。	環境省、北海道、弟子屈町、摩周湖観光協会		●	●			・摩周第1展望台について、関係者（環境省、北海道庁、弟子屈町、弟子屈町振興公社）で、展望台の再整備の方向性及びカフェスペースを含めたレストハウスのあり方について検討予定。	
b)上質な宿泊施設の誘致	—								
c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017（平成29）年度までに、摩周湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省	●	●				・2018（平成30）年2月に、阿寒摩周国立公園（全体、各ビューポイント）における利用のあり方に関する全体構想をとりまとめ。	
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、摩周カルデラ北部外輪山及びその山麓域における利用のあり方を検討し、具体的なツアー・プログラムの開発を進める。	清里町、きよさと観光協会		●	●	●	●	・裏摩周展望台から神の子池までの区間について、トレイルルートを検討するための現地踏査を実施。	
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしががスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえて検討を行う。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部等		●	●	●	●	・ガイドを対象とした講習会について年間スケジュールを作成し、それを基にガイド育成を年6回開催（ヒグマ・アイヌ文化・リスクマネジメント・国立公園・ガイド論・火山・気象）。（弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会））（再掲） ・川湯温泉の方向性に係る講演会及びヘルスツーリズムに係る研修会を川湯温泉で実施。（北海道）	
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図る。	標茶町、中標津町、標茶町観光協会、なかしべつ観光協会、自然公園財団川湯支部等		●	●	●	●	・既存のロングトレイルについて、体験型のツアー・プログラムを実施。また、冬期間限定のプログラムも実施。（なかしべつ観光協会）	
d)利用料等の公園管理への活用	2020（平成32）年度までに、摩周湖における駐車場利用に係る協力金について、摩周湖の魅力向上のための用途等を検討する。	自然公園財団川湯支部		●	●	●	●	・老朽化した施設の簡易な修繕や補修、施設の美化清掃及び維持管理を実施。 ・摩周第1展望台駐車場のチケットハウスの屋根・壁を塗装し景観を整える。2019（平成31）年に実施予定。	
イ) まちなみ等の景観改善	—								
ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2020（平成32）年度までに、ア) a)の民間開放のあり方の検討状況を踏まえて、摩周第1展望台、摩周第3展望台、裏摩周展望台の再整備等のあり方を検討し、その結果を踏まえ再整備等を進める。	環境省、北海道、清里町、弟子屈町		●	●	●	●	・摩周第1展望台、摩周第3展望台、裏摩周展望台について、再整備の方向性及び利用のあり方について協議、検討中。（環境省、北海道、清里町、弟子屈町、弟子屈町振興公社）	
	2017（平成29）年度までに、摩周第一園地の公衆トイレの改修等を行う。	北海道	●	●				・2017(平成29)年度に、公衆トイレの再整備を実施。	
	摩周岳や西別岳に至る登山道について、引き続き関係者の協力を得つつ維持管理等を行う。	環境省、標茶町、弟子屈町	●	●	●	●	●	・各登山道について、関係者の協力を得つつ維持管理等を実施。	

< 屈斜路湖 >									
取組		実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	進捗状況及び今後の予定	
ア) 多様なサービスの提供のための民間活用									
a) 公共施設等の民間開放	—								
b) 上質な宿泊施設の	—								
c) ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017（平成29）年度までに、屈斜路湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省、弟子屈町	●	●					・ 2018（平成30）年2月に、阿寒摩周国立公園（全体、各ビューポイント）における利用のあり方に関する全体構想をとりまとめ。（環境省）
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、美幌峠の雲海のツアー・プログラムの開発・実施、ガイドの育成を図る。	美幌町、美幌観光物産協会		●	●	●	●		・ 2017（平成29）年度から美幌峠の雲海発生予測を実施し雲海の魅力を広く情報発信する。 ・ 2017（平成29）年度から美幌観光物産協会で行うマーケティング事業において、美幌峠のニーズ調査を行い、具体的なツアープログラムの実施に向けて検討を行う。
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、釧路川へのカヌーツアー、コタン地区におけるアイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部等		●	●	●	●		・ 屈斜路湖畔の林道等を活用したロングトレイル（湖一周、川湯温泉～美幌峠）について、専門家や関係者を変え、現地調査等を行い最適な利用のあり方をやルード、維持管理の仕組みを検討中。（弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会））（再掲） ・ 観光客への案内対応の向上を図るため、ホテルの従業員が釧路川カヌーツアーを体験するなど、ガイドと民間宿舎の従業員と連携強化。（弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会））（再掲） ・ 川湯温泉街から屈斜路湖に流れる温泉川及び湯川の景観改善及びツアー・プログラムの検討に向けて現地踏査を実施。（阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会）（再掲） ・ ガイドを対象とした講習会について年間スケジュールを作成し、それを基にガイド育成を年6回開催（ヒグマ・アイヌ文化・リスクマネジメント・国立公園・ガイド論・火山・気象）。（弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会））（再掲）
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図る。	津別町、小清水町、大空町、津別観光協会、小清水町観光協会、オホーツク大空町観光協会、自然公園財団川湯支部等		●	●	●	●		・ 屈斜路カルデラ外輪山（蘆琴山～美幌峠～津別峠）のトレイルルートを検討中。（美幌地区三町広域観光協議会（美幌町、美幌観光物産協会、大空町、オホーツク大空町観光協会、津別町、津別町観光協会））
d) 利用料等の公園管理への活用	—								
イ) まちなみ等の景観改善	—								
ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2017（平成29）年度までに、和琴集団施設地区の整備基本計画をとりまとめる。	環境省	●	●					・ 2018（平成30）年3月に、和琴集団施設地区の整備基本計画をとりまとめ。
	2019（平成31）年度までに、以上の整備基本計画に基づき、和琴園地内の歩道やキャンプ場の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●			・ 2018（平成30）3月に、和琴園地内の2箇所のトイレについてユニバーサルデザインに対応した改修を実施。 ・ 和琴園地内の歩道、解説看板及び標識の再整備を検討中。
	2017（平成29）年度までに、砂湯野営場の再整備等を行う。	北海道	●	●					・ 2017(平成29)年度中に、公衆トイレ（4箇所）、炊事場等の再整備を実施。
	2017（平成29）年度までに、美幌峠園地の再整備等を行う。	北海道	●	●	●				・ 2017（平成29）年度に、公衆トイレ等の再整備を実施。 ・ 2018（平成30）年度中に、園路等の再整備を予定。
	2018（平成30）年度までに、屈斜路カルデラ外輪山に位置し、阿寒摩周国立公園のエントランスとしても重要な「道の駅ぐるっとパノラマ美幌峠」のレストハウスにおいて、多言語に対応した解説看板や標識、情報発信のための情報端末機器等の整備を行う。また、美幌峠の景観を楽しみながら休憩できる環境の整備を行う。	美幌町		●	●				・ 2017（平成29）年度にレストハウス2階の改修を実施。 ・ 多言語に対応した解説看板や標識の設置の他、美幌峠の魅力の情報発信するための施設整備を行う。
	2020（平成32）年度までに、コタン地区における公衆トイレの改修等について検討する。	弟子屈町		●	●	●	●		・ 今後、検討予定。
	2020（平成32）年度までに、釧路川へのカヌー利用の状況等を踏まえ、スタート地点となる釧路川源流部における整備等のあり方について、その結果を踏まえ整備等を進める。	弟子屈町、摩周湖観光協会等		●	●	●	●		・ 釧路川へのカヌー利用の状況等を踏まえ、スタート地点となる釧路川源流部における整備等のあり方について、今後カヌー事業者や屈斜路適正利用推進協議会とも連携し検討する。

<プロモーション>						
取組	実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
2016（平成28）年度までに、日本の国立公園を魅力的なコンテンツとして全世界に発信するためのブランディング戦略（仮称）を策定するとともに、そのブランドイメージを視覚化するための国立公園マーク（仮称）を作成する。	環境省	●				
2017（平成29）年度までに、以上のブランディング戦略（仮称）等を踏まえ、阿寒摩周国立公園におけるインパウンドの増加を図るためのプロモーション戦略（仮称）をとりまとめる。	環境省	●	●			
2017（平成29）年度までに、以上のブランディング戦略（仮称）及びプロモーション戦略（仮称）等を踏まえ、阿寒摩周国立公園の魅力等を情報発信するためのプロモーション動画を作製し、ターゲットへの訴求力の高い海外メディア等を活用したプロモーションを行う。	環境省	●	●			
2020（平成32）年度までに、以上のブランディング戦略（仮称）及びプロモーション戦略（仮称）等を踏まえ、広域観光周遊ルート事業やビジット・ジャパン事業、道東エリアの国立公園（知床、釧路湿原）等とも連携し、具体的なプロモーション（日本政府観光局（JNTO）等と連携したプロモーション、ファムトリップ、外国人利用者の視点に立ったガイドブックの作成やホームページの開設・更新、外国人を含めた利用者向けのプロジェクションマッピング等）を進める。	環境省、国土交通省、北海道、北海道観光振興機構、阿寒摩周国立公園広域観光協議会、経済産業省		●	●	●	●



国立公園満喫プロジェクト 中間評価について

1. 中間評価の狙い

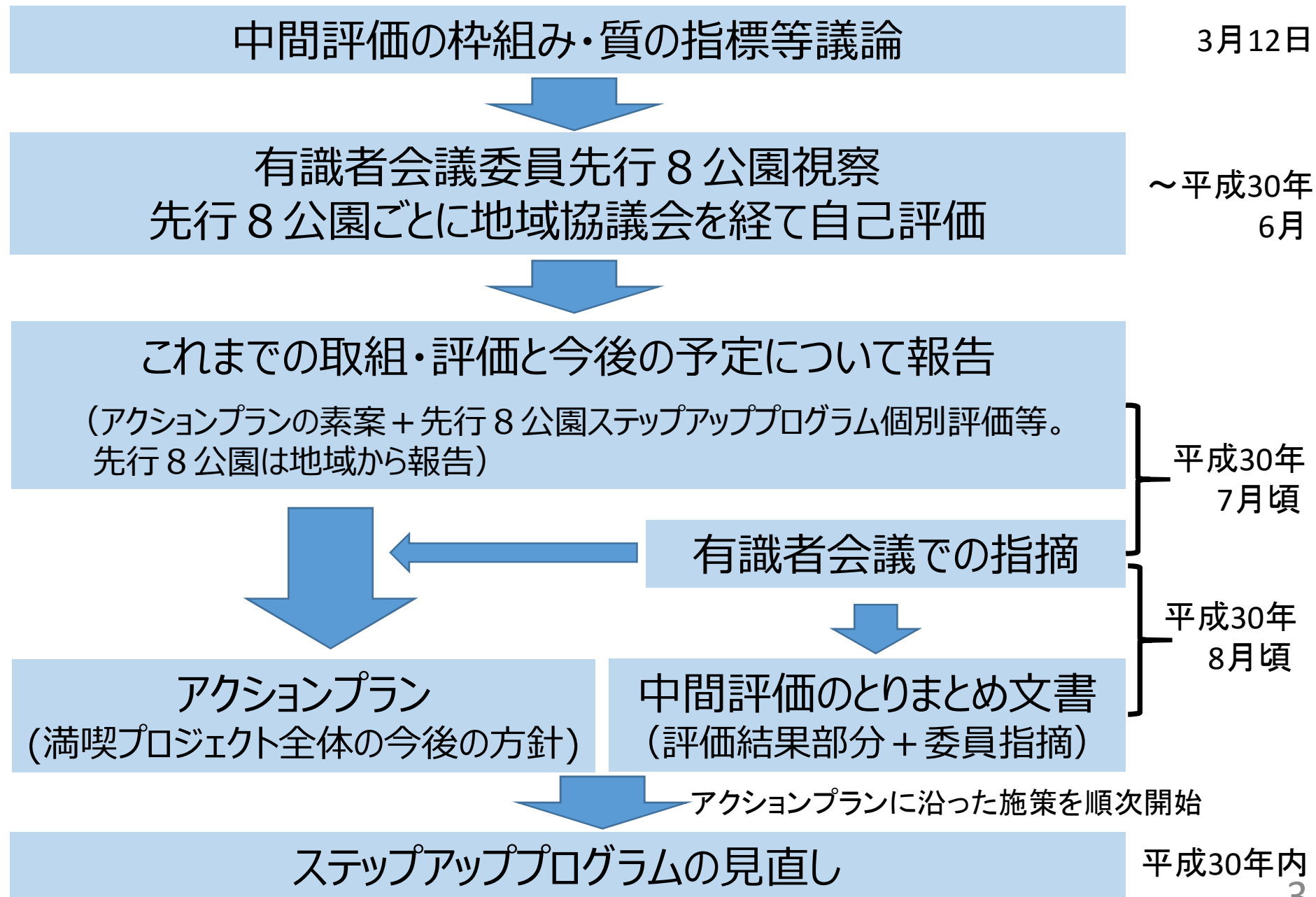
(1) 中間評価結果を踏まえアクションプランを策定

- これまでの取組や有識者からの指摘（＝中間評価）を踏まえて、満喫プロジェクトの推進における今後の方針を整理。
- 公共施設の民間開放、プロモーションなどの施策単位で指標を設定し、2020年1000万人目標から逆算した満喫プロジェクト全体のアクションプランを夏に策定。

(2) 各公園での取組のさらなる推進

- 先行8公園について、良い取組、強化・改善すべき取組を有識者からアドバイスいただき、各公園に対してフィードバック。
- 中間評価の結果を踏まえて、各公園でステップアッププログラムを改訂

2. 中間評価の流れ



4. 中間評価に使う指標と目標

	全公園	先行8公園 全体	先行8公園 ごと
(1) 訪日外国人国立公園利用者数	○	○	○
490万人(2015年) → 1000万人(2020年目標)	訪日外国人 消費動向調査	訪日外国人 消費動向調査	訪日外国人 消費動向調査
質の指標 ※ 値を継続的に把握。			
1) 国立公園での訪日外国人旅行消費額		△	△
		国立公園 訪問者アンケート	国立公園 訪問者アンケート
2) 国立公園周辺外国人延べ宿泊者数		△	△
		国立公園 訪問者アンケート	国立公園 訪問者アンケート
3) 国立公園での外国人リピーター率		△	△
		国立公園 訪問者アンケート	国立公園 訪問者アンケート
4) 先行8公園での満足度		△	△
		国立公園 訪問者アンケート	国立公園 訪問者アンケート

△…今後、調査精度を上げていくことが必要

5. 中間評価のための資料構成（現時点案）

- （１）国立公園満喫プロジェクトの今後の方向性
- （２）国立公園満喫プロジェクトの指標と目標
- （３）国立公園満喫プロジェクトの枠組み
- （４）全国的な取組と主要な取組
- （５）地域主導の取組（先行8公園個別の取組）
- （６）地域主導の取組（+3公園個別の取組）
- （７）モバイルアンケートによる評価

6. 「(4)全国的な取組と主要な取組」の構成案と対応する評価指標(現時点案)

構成案		個別指標例
1) 質の指標開発		取得サンプル数(1公園当たり) モバイルアンケートの結果を踏まえた改善事例
2) 関係省庁との連携		満喫Pに関係する各省庁の交付金活用実績 満喫Pに関係する各省庁事業実績 国際観光旅客税(仮称)による事業実績
3) 民間活用によるサービス向上		
	① 多様な宿泊環境の提供	4つ星以上の宿泊施設数、国立公園内グランピング事業者数
	② 公共施設の民間開放	先行8公園VC来訪者数、先行8公園利用者満足度
4) 受入環境の整備		
	① コンテンツの磨き上げ・受入体制強化	磨き上げたコンテンツ数、お勧めモデルコース数、ツアーデスクの設置数
	② 引き算の景観改善	廃屋撤去を実施できた地区数
	③ 基盤整備	先行8公園VC多言語化改修率、先行8公園トイレ洋式化率
	④ 人材育成	育成支援地域数(集合研修参加地域数)
	⑤ 利用者負担による保全の仕組み作り	利用者負担金額 入域料等の新規の仕組みの実施数
5) プロモーション		国立公園公式Facebook フォロワー/いいね!数 国立公園公式Facebook フォロワーに占める外国人ユーザーの割合 国立公園ポータルサイトウェブサイトPV数
6) 体制強化		現地レンジャー数、増員による成果事例

先行8公園からの報告様式 **周**国立公園 満喫プロジェクト進捗状況

赤字は実施済の取組

火山と森と湖が織りなす原生的な自然を堪能する

(数値目標) ～ 訪日外国人利用者数 6.3万人(H29年) → **15万人(H30年)** ～

H29.8 公園名変更

特徴①

原生的な自然で過ごす「上質な時間」

眺望や居心地のよい宿泊施設、展望施設、カフェでの滞在、それぞれ特色の異なる温泉での保養など、原生的な自然の魅力を実感しながら上質な時間を過ごす

-  H30年夏の川湯エコミュージアムセンターへの民間カフェ導入(試行)を目指し、地元調整中
-  阿寒湖畔における富裕者層をターゲットとした宿泊施設の誘致に向け、地元市及び民間において検討着手
-  川湯温泉街の再生に向け、地元町において再整備計画を策定中(H29年度内に策定)

特徴②

原生的な自然の「新たな活用」

カヌーやトレッキング、バードウォッチングなど、原生的な自然への新たなアプローチも含めたローインパクトなアクティビティを通じ、自然の雄大さやパワー、生きもののたくましさ直接ふれる

-  マリモ観察ガイドツアー実施に向けて、地元関係者や研究者からなるPTを設置(H29.7)し検討を開始。H30夏以降にツアー試行開始予定
-  阿寒湖南岸における新たな歩道(H31整備予定)や雲海が楽しめる歩道の再整備(H29整備)など、**上質な利用のための施設整備の推進**
-  オンネトー湖岸の静かな環境を生かした**ディグラランピングの導入**等、個人旅行者の受入環境整備に向けた検討を開始
-  地域の魅力を生かしたロングトレイルの設定  サイクリングロードの設定
-  H29.9に日本旅行業協会とともに**ファミトリップ**を実施

特徴③

「アイヌ文化」の体感

古くから伝わるアイヌの祭事や伝統文化など、我が国の先住民族であるアイヌの文化を体感する

-  観光庁との連携の下、阿寒湖温泉において「**アイヌアート まちなかミュージアム**」を推進中
-  アイヌ文化を基調とした**夜のデジタルアートイベント**の開催(H30から)



アイヌコタン

ビューポイント

公園全体の取組



屈斜路湖

川湯温泉・硫黄山



阿寒湖



摩周湖



オンネトー・雌阿寒岳



オンネトーからみた雌阿寒岳と阿寒富士

阿寒湖でのカヌーツアー

至 釧路空港

新たな魅力の地味はつながる歩道

国立公園区域

ビューポイント

摩周第一展望台からの眺め

7

〇〇国立公園 満喫プロジェクト 中間評価

目標の達成状況

●●についてさらなる加速化が必要

●総評

<定量評価（これまでの取組の進捗・成果、加速化・強化が必要な取組等）、定性評価（目標進捗状況）の概要を記載>

●訪日外国人国立公園利用者数(2020年目標 ○万人)

2015年	2016年	2017年
○万人	→ ○万人	→ ○万人
(●%)	(●%)	(●%)

() は標準誤差

●●により増加した

●その他SUPで独自に定めた目標

~~~~

#### ○質の指標

●国立公園での訪日外国人旅行消費額

●国立公園周辺外国人延べ宿泊者数

●国立公園での外国人リピーター率

●満足度

## これまでの成果

### ●●地域で利用者数が○倍に

●●

<成果の出ている取組と成果（見込み含む）について記載>

●●

●●

●●

## 加速化・強化が必要な取組

### ●●を●●な空間に

●●のデータから、●●を強化することが消費額向上に有効。●●と●●の連携を強化しつつ取組を強化

<加速化・強化が必要な取組について記載>

●●

●●

<上記「目標の達成状況」「これまでの成果」「加速化・強化が必要な取組」の記載の理解に参考となる写真、図表を記載>



| 阿寒摩周                             | 個別目標                                                                                                             | 2016                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 2017                                                                                                                           | 2018                                                                                   | 2019                                                                                     | 2020                       |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 訪日外国人<br>国立公園<br>利用者数（万人）        |                                                                                                                  | 利用者数 5.8                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                |                                                                                        |                                                                                          | 利用者数 15                    |
| 特徴①<br>原生的な自然<br>で過ごす<br>「上質な時間」 | 2019年<br>川湯エコミュージアムセン<br>ター（EMC）併設カフェ本<br>格開業<br><br>2019年<br>川湯EMCツアーデスク設置<br><br>2020年<br>先行地域での廃屋撤去           | 阿寒湖畔エコミュージアムセン<br>ター（EMC）・カフェ導入に<br>向けたくろぎ空間造成<br><br>                                                                                                                                                      | 阿寒湖畔EMC・コーヒー提供<br>方法の検討<br><br>川湯EMC・カフェ導入に<br>向けた内部改装<br><br>川湯温泉地区再整備<br>計画策定（弟子屈町）                                          | 阿寒湖畔EMC・コーヒー等の提供<br><br>川湯EMC・カフェ試験導入、<br>ツアーデスク機能試験導入<br><br>廃屋ホテル1棟及び土地<br>権利制限整理・譲渡 | 川湯EMC・カフェ本格導入、<br>ツアーデスク機能導入<br><br>廃屋ホテル1棟の撤去及び園地整備                                     | 川湯EMC・カフェ本格導入、<br>ツアーデスク強化 |
| 特徴②<br>原生的な<br>自然の<br>「新たな活用」    | 2019年<br>オンネトー野営場デイベ<br>ンギング本格開始<br><br>2019年<br>環境協力金上乗せマリモ<br>観察ツアー本格開始<br><br>2020年<br>阿寒湖畔歩道（ボッケ～<br>滝口）整備完了 | <br><br><small>写真提供：スノーピーク</small><br> | ファムトリップ<br>アンケート調査結果を踏まえたコンテンツ磨き上げ<br><br>オンネトー野営場<br>デイベンギング導入検討<br><br>和琴半島野営場<br>グランピング導入可能性検討<br><br>マリモ利用のあり方について<br>方針策定 | オンネトー野営場<br>デイベンギング試行<br><br>環境協力金上乗せマリモ<br>観察ツアーの試験開始                                 | オンネトー野営場<br>デイベンギング導入<br><br>検討結果を踏まえた更なる展開<br><br>ツアーの本格実施、環境保全協力金の水草除去、<br>生育状況調査等への活用 | 阿寒湖畔歩道（ボッケ～<br>滝口）環境調査     |
| 特徴③<br>「アイヌ文化」<br>の体験            | 2017年<br>阿寒湖畔EMC展示改修完了                                                                                           |                                                                                                                                                                                                           | 「アイヌアートまちなかミュージアム」推進 @ 阿寒湖温泉<br><br>阿寒湖畔EMC展示改修<br>（アイヌ展示含む）                                                                   | アイヌ文化を基調とした夜のデジタルアートイベント開催 @ 阿寒湖温泉                                                     |                                                                                          |                            |

## 国立公園満喫プロジェクトの中間評価に係るスケジュールについて

### 1. 概要

2020 年に向け、より戦略的、効果的な施策を進めるため、環境省本省設置の国立公園満喫プロジェクト有識者会議においてプロジェクト全体の中間評価を行う。阿寒摩周国立公園を含む先行 8 公園の取組についても、よい取組、更に力を入れるべき取組について有識者からアドバイスを頂き、各公園の取組にフィードバックする。

これに合わせて、各公園の地域協議会においても、取組の進捗状況を評価し、来年度の有識者において報告する。プロジェクト全体の中間評価を踏まえて、取組を加速化する（必要に応じてステップアッププログラムを改定する）。

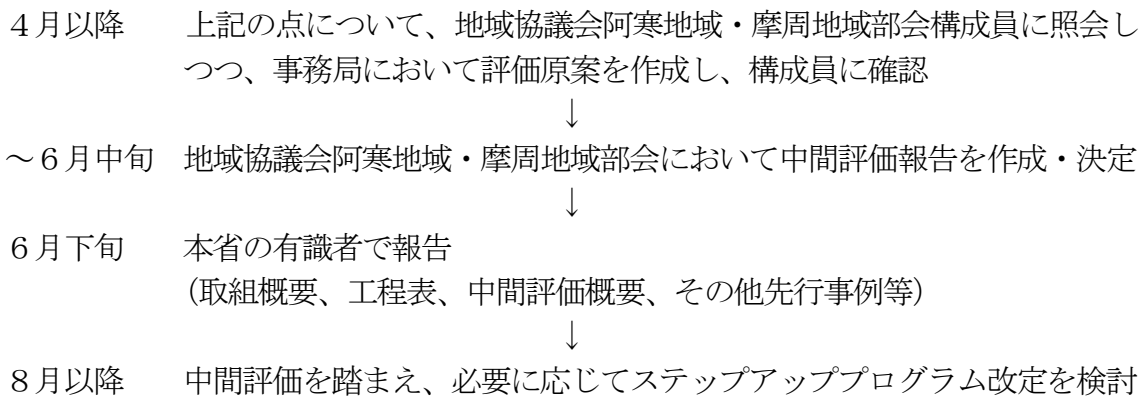
### 2. スケジュール

| 環境省本省                                              | 地域協議会                                               |
|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 平成 30 年 3 月 12 日<br>◆有識者会議<br>・中間評価の枠組み、質の指標について議論 |                                                     |
|                                                    | 3 月 29 日<br>◆地域協議会<br>・中間評価の進め方について議論               |
|                                                    | ～6 月中旬<br>◆有識者会議委員による 8 公園視察<br>◆地域協議会地域部会において評価    |
| 6 月下旬<br>◆有識者会議（報告・議論）<br>・8 公園から報告                |                                                     |
| 8 月上旬<br>◆有識者会議<br>・中間評価とりまとめ                      |                                                     |
|                                                    | 8 月中旬～<br>◆中間評価を踏まえた取組を推進<br>・必要に応じてステップアッププログラムを改定 |

### 3. 地域協議会における個別評価の進め方

定量的指標、定性的評価を組み合わせで点検・評価する。

- ・ ステップアッププログラムに記載されている目標・施策の進捗状況を網羅的に点検
- ・ 特に進捗のあった取組についても取り上げ、定性的に評価
- ・ ステップアッププログラムに記載されていない施策についても重要な取組についてとりまとめ（必要に応じてステップアッププログラム改定に反映）
- ・ 公園全体の利用者数等の定量的数値を評価（その他、エコミュージアムセンター等個別施設の利用者数、標識・展示等の多言語化率、トイレ洋式化率、サイト PV 数等についても評価を検討）
- ・ 個別の施策の成果（特定の施設やアクティビティなど、特定の取組によって利用者数や消費額が増えた等）も極力把握



<参考：国立公園満喫プロジェクト有識者会議委員>

デイビット アトキンソン（小西美術工芸社社長）  
 石井至（有限会社石井兄弟社社長）  
 江崎貴久（旅館海月女将、有限会社オズ代表取締役）  
 ロバート・キャンベル（国文学研究資料館長）  
 野添ちかこ（温泉と宿のライター）  
 星野佳路（星野リゾート代表）  
 涌井史郎（東京都市大学特別教授） ※座長

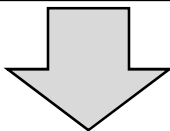
## 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会 平成29年度 開催状況

平成 29 年 6 月 30 日

### 阿寒国立公園満喫プロジェクト地域協議会 阿寒地域・摩周地域部会合同開催（第 1 回）

- ・ 設置要項の改正案（組織再編等）
- ・ ステップアッププログラムに係る取組の進捗状況の確認

開催地 … 弟子屈町社会老人福祉センター

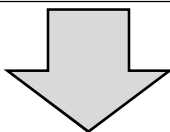


平成 29 年 12 月 20 日

### 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会 阿寒地域・摩周地域部会合同開催（第 2 回）

- ・ 設置要項の改正案（国立公園名称変更）
- ・ 進捗状況の確認及び今年度の取組状況の中間とりまとめ
- ・ ステップアッププログラムの見直しについて議論

開催地 … 釧路市 阿寒湖まりむ館



平成 30 年 3 月 29 日

### 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会

- ・ 設置要綱の改正
- ・ ステップアッププログラムの改定
- ・ 今年度の取組状況の報告
- ・ 来年度の更なる取組等について議論

開催地 … 釧路市 阿寒湖まりむ館



## 国立公園別訪日外国人利用者数推計値等

当推計は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の調査票情報を利用し、算出したもの。  
「訪日外国人消費動向調査」は国籍・地域毎に回収目標数の抽出率が異なるため、母集団構成に合わせることを目的として、平成28年より、四半期別および国籍・地域別ウェイトバック集計を行う方法に見直した。（平成27年分も再計算している。）

| 公園名          | 訪日外国人数            |              |                   |              |                   |             |              |             |            |
|--------------|-------------------|--------------|-------------------|--------------|-------------------|-------------|--------------|-------------|------------|
|              | H27               |              | H28               |              | H29【暫定値】          |             |              |             |            |
|              | 推計実利用者数<br>*1(千人) | 標準誤差率<br>(%) | 推計実利用者数<br>*1(千人) | 標準誤差率<br>(%) | 推計実利用者数<br>*1(千人) | 前年増減<br>(%) | 標準誤差率<br>(%) | アジア系<br>(%) | 欧米系<br>(%) |
| 1 利尻礼文サロベツ   | 5                 | 31.6%        | 14                | 21.1%        | 10                | -29.7%      | 26.9%        | 80%         | 20%        |
| 2 知床         | 21                | 15.4%        | 28                | 14.5%        | 20                | -27.3%      | 18.7%        | 98%         | 2%         |
| 3 阿寒摩周       | 63                | 8.9%         | 58                | 10.2%        | 57                | -2.4%       | 11.2%        | 94%         | 6%         |
| 4 釧路湿原       | 34                | 12.0%        | 27                | 15.0%        | 39                | 44.1%       | 13.5%        | 79%         | 21%        |
| 5 大雪山        | 64                | 8.8%         | 83                | 8.5%         | 60                | -27.2%      | 10.9%        | 89%         | 6%         |
| 6 支笏洞爺       | 688               | 2.6%         | 827               | 2.7%         | 901               | 9.0%        | 2.8%         | 95%         | 4%         |
| 7 十和田八幡平     | 7                 | 26.7%        | 22                | 16.6%        | 19                | -14.4%      | 19.5%        | 95%         | 5%         |
| 8 三陸復興       | 10                | 22.4%        | 16                | 19.2%        | 15                | -4.5%       | 21.6%        | 85%         | 15%        |
| 9 磐梯朝日       | 0.5               | 100.0%       | 4                 | 39.4%        | 9                 | 136.8%      | 27.4%        | 69%         | 9%         |
| 10 日光        | 190               | 5.1%         | 241               | 5.0%         | 271               | 12.6%       | 5.1%         | 58%         | 27%        |
| 11 尾瀬        | -                 | -            | 2                 | 53.2%        | -                 | -           | -            | -           | -          |
| 12 上信越高原     | 214               | 4.8%         | 265               | 4.7%         | 322               | 21.7%       | 4.7%         | 84%         | 12%        |
| 13 秩父多摩甲斐    | 19                | 16.2%        | 22                | 16.5%        | 10                | -54.7%      | 26.7%        | 90%         | 10%        |
| 14 小笠原       | -                 | -            | 0                 | 133.5%       | -                 | -           | -            | -           | -          |
| 15 富士箱根伊豆    | 2,341             | 1.4%         | 2,577             | 1.4%         | 2,580             | 0.1%        | 1.6%         | 82%         | 13%        |
| 16 中部山岳      | 338               | 3.8%         | 351               | 4.1%         | 382               | 8.7%        | 4.3%         | 62%         | 30%        |
| 17 妙高戸隠連山    | 8                 | 24.2%        | 6                 | 32.5%        | 13                | 116.7%      | 23.4%        | 46%         | 22%        |
| 18 白山        | 3                 | 40.8%        | 1                 | 66.3%        | 2                 | 53.1%       | 68.3%        | 66%         | 34%        |
| 19 南アルプス     | -                 | -            | 1                 | 93.6%        | 2                 | 118.0%      | 57.2%        | 100%        | -          |
| 20 伊勢志摩      | 33                | 12.2%        | 61                | 9.9%         | 76                | 24.1%       | 9.7%         | 76%         | 14%        |
| 21 吉野熊野      | 53                | 9.7%         | 59                | 10.1%        | 67                | 12.9%       | 10.3%        | 84%         | 16%        |
| 22 山陰海岸      | 32                | 12.4%        | 50                | 10.9%        | 43                | -13.1%      | 12.8%        | 65%         | 29%        |
| 23 瀬戸内海      | 296               | 4.1%         | 310               | 4.0%         | 387               | 24.7%       | 4.3%         | 61%         | 27%        |
| 24 大山隠岐      | 6                 | 28.9%        | 14                | 20.8%        | 11                | -21.8%      | 25.5%        | 71%         | 29%        |
| 25 足摺宇和海     | 0.5               | 100.0%       | 5                 | 35.4%        | 5                 | -2.8%       | 38.3%        | 45%         | -          |
| 26 西海        | 55                | 9.5%         | 74                | 9.0%         | 56                | -24.7%      | 11.3%        | 58%         | 32%        |
| 27 雲仙天草      | 28                | 13.2%        | 29                | 14.4%        | 25                | -13.2%      | 16.8%        | 79%         | 11%        |
| 28 阿蘇くじゅう    | 682               | 2.7%         | 675               | 2.9%         | 926               | 37.2%       | 2.7%         | 99%         | 1%         |
| 29 霧島錦江湾     | 71                | 8.3%         | 79                | 8.7%         | 129               | 62.7%       | 7.4%         | 96%         | 2%         |
| 30 屋久島       | 10                | 22.4%        | 17                | 19.0%        | 25                | 47.7%       | 16.8%        | 43%         | 14%        |
| 31 奄美群島      |                   |              |                   |              | 6                 | -           | 35.0%        | 84%         | 16%        |
| 32 やんばる      |                   |              | -                 | -            | -                 | -           | -            | -           | -          |
| 33 慶良間諸島     | -                 | -            | -                 | -            | -                 | -           | -            | -           | -          |
| 34 西表石垣      | 12                | 20.4%        | 14                | 20.8%        | 14                | -1.5%       | 22.7%        | 51%         | 30%        |
| 合計(選定された8公園) | 1,052             | -            | 1,150             | -            | 1,488             | 29.4%       | -            | 89%         | 7%         |
| 合計(各公園計)     | 5,284             | 0.8%         | 5,932             | 0.9%         | 6,482             | 9.3%        | 0.9%         | 83%         | 12%        |
| 合計(実利用者数)    | 4,902             | 0.9%         | 5,457             | 0.9%         | 6,001             | 10.0%       | 1.0%         | 85%         | 11%        |
| 訪日外客数全体 *2   | 19,737            | -            | 24,039            | -            | 28,691            | 19.4%       | -            | -           | -          |

…選定された8公園

…参考値 \*3

\*1 推計実利用者数: 当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数。1人の利用者が同一公園内の複数地点を利用しても1人と数える。また、合計(選定された8公園)及び合計(各公園計)は、1合計(実利用者数)は、1人の利用者が複数の公園を訪れても1人と数える。千人単位で四捨五入している。

\*2 訪日外客数全体: 出典: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」※平成29年1月~10月の数値は暫定値、11月、12月の数値は推計値。

\*3 標準誤差率が30%以上の公園については、サンプル数が少なく信頼性が低いので、参考値とする。取り扱いには十分注意し、転載や二次使用する際には、信頼性の低い参考値であることを明

※「慶良間諸島国立公園」及び「やんばる国立公園」は、「訪日外国人消費動向調査」の訪問地選択肢コードに該当する地点が無かったため、推計対象外。

※平成27年データの「尾瀬国立公園」「小笠原国立公園」「南アルプス国立公園」、平成29年データの「尾瀬国立公園」「小笠原国立公園」は、標本数が0(欠損)のため推計不可として扱った。

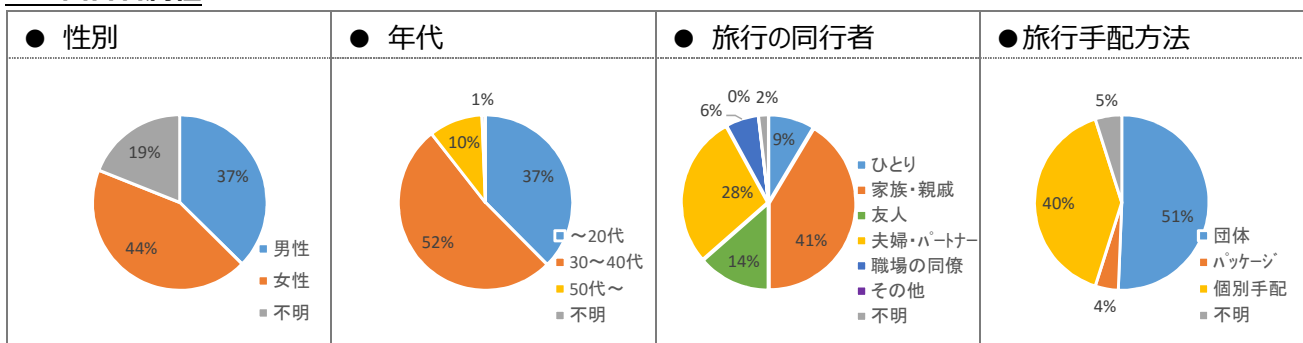
# 国立公園訪問者アンケートの結果 – 阿寒摩周国立公園 –

2017 年度

## 1. 調査概要

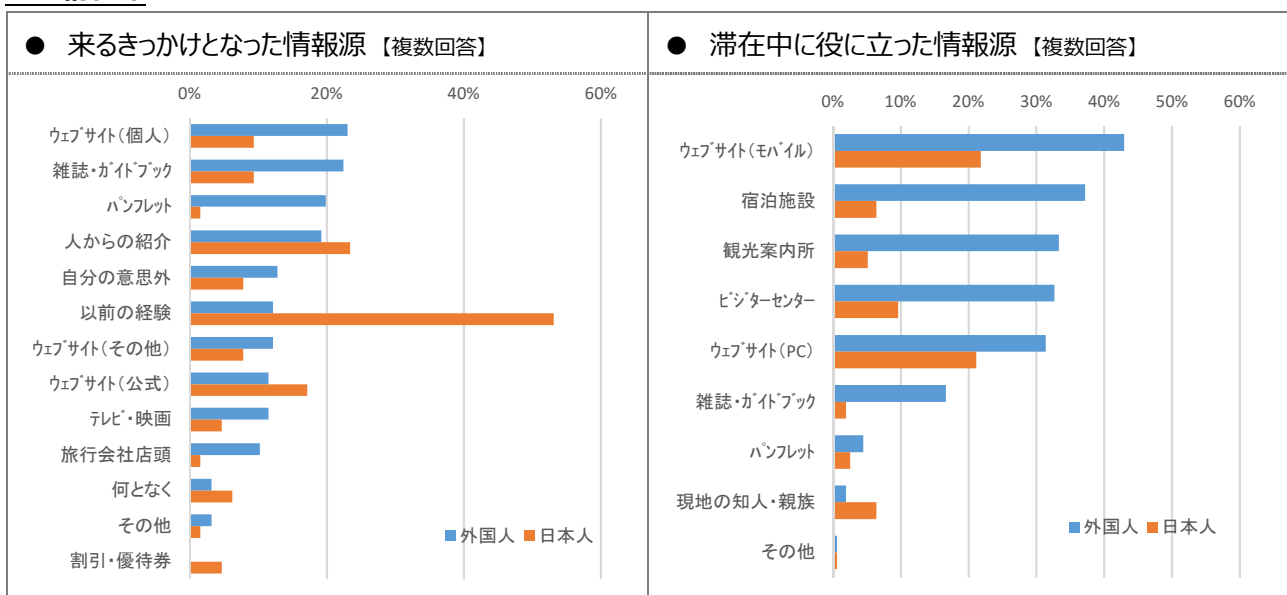
- 調査主体： 環境省 国立公園課
- 調査期間： 2017 年 9 月 1 日 ～ 2018 年 2 月 19 日（データ分析対象期間）
- 調査方法： 回答者が自身のモバイル機器を使って特設サイトで回答、もしくは現地留め置き紙調査票で回答、もしくは調査員による聞き取り調査による回答
- 調査対象： 18 歳以上の男女（日本人、外国人（英語・韓国語・繁体字・簡体字を用意）を問わない）
- 回答者数： 223 票（日本語票 64 票 外国語票 159 票）
- 対象地： 阿寒摩周国立公園及びその周辺  
※比較：満喫 P 選定 8 公園（阿寒摩周、十和田八幡平、日光、伊勢志摩、大山隠岐、阿蘇くじゅう、霧島錦江湾、慶良間諸島）の平均

## 2. 回答者属性



・男女はほぼ半々、30～40 代が多く、同行者は家族・親戚と夫婦・パートナーが多い。旅行手配方法は、団体、個別がほぼ半々。

## 3. 情報源



・来るきっかけとして、外国人はウェブサイト（個人）、雑誌・ガイドブック、パンフレット、人からの紹介が多い。一方で、日本人は以前の経験がきっかけとなっているものが多い。

・滞在中に役に立った情報源として、外国人の場合、ウェブサイト、宿泊施設、観光案内所、ビジターセンターなどからの情報が高い。

### 3. 指標に係る内容

【満足度】滞在全体の満足度

| 対象       | 1 大変満足 | 2   | 3   | 4  | 5  | 6  | 7 大変不満 |
|----------|--------|-----|-----|----|----|----|--------|
| 8公園平均    | 40%    | 55% | 3%  | 2% | 0% | 0% | 0%     |
| 阿寒摩周国立公園 | 35%    | 50% | 10% | 3% | 2% | 0% | 0%     |
| うち外国人    | 35%    | 50% | 10% | 3% | 2% | 0% | 0%     |
| うち日本人    | 35%    | 50% | 10% | 3% | 2% | 0% | 0%     |

【満足度】個別満足度

| 項目       | 8公園平均 | 外国人 | 日本人 |
|----------|-------|-----|-----|
| 自然景観     | 6.5   | 6.8 | 6.5 |
| 宿泊施設     | 5.5   | 5.8 | 5.5 |
| 食事       | 5.0   | 5.2 | 5.0 |
| ビジターセンター | 4.5   | 4.8 | 4.5 |
| 現地プログラム  | 4.0   | 4.2 | 4.0 |
| 案内版・標識   | 4.0   | 4.2 | 4.0 |
| 遊歩道・展望台  | 4.0   | 4.2 | 4.0 |
| 外語対応     | 4.0   | 4.2 | 4.0 |
| お土産      | 4.0   | 4.2 | 4.0 |
| サービス全般   | 4.0   | 4.2 | 4.0 |
| 情報の収集活用  | 4.0   | 4.2 | 4.0 |

公園における支出額

| 対象       | 宿泊費    | 飲食費    | 交通費    | 自然体験費  | 合計     |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 8公園平均    | 20,000 | 15,000 | 10,000 | 10,000 | 77,314 |
| 阿寒摩周国立公園 | 22,000 | 15,000 | 10,000 | 10,000 | 76,374 |
| うち外国人    | 25,000 | 15,000 | 10,000 | 10,000 | 93,449 |
| うち日本人    | 15,000 | 10,000 | 5,000  | 5,000  | 34,219 |

公園および周辺における宿泊数

| 対象       | 公園内 | 周辺含む |
|----------|-----|------|
| 8公園平均    | 1.3 | 2.8  |
| 阿寒摩周国立公園 | 1.8 | 4.5  |
| うち外国人    | 1.8 | 5.4  |
| うち日本人    | 1.6 | 2.5  |

公園訪問者のリピーター率

| 対象       | 2回目～ | 3回目～ |
|----------|------|------|
| 8公園平均    | 16%  | 8%   |
| 阿寒摩周国立公園 | 27%  | 20%  |
| うち外国人    | 5%   | 1%   |
| うち日本人    | 79%  | 67%  |

- 阿寒摩周 NP の滞在全体の満足度は、8 公園平均と比較して、若干低い傾向。
- 個別満足度は、外国人は 8 公園平均とほぼ同じだが、日本人は全体的に平均より低い。
- 支出額について、阿寒摩周 NP 全体では 8 公園平均とほぼ同じであるが、外国人の支出額は 8 公園平均より 1.2 倍ほど高く、一方で日本人はその半分以下。
- 宿泊数について、阿寒摩周 NP 全体は 8 公園平均より高い。公園内の宿泊については、外国人も日本人も同程度。
- リピーター率について、阿寒摩周 NP 全体では 8 公園平均より高いが、日本人が圧倒的に多く（約 8 割）、外国人はほとんどいない。

#### 4. 改善すべき点及び改善内容（自由記述）

##### （交通アクセスについて：5件）

- ・ 個人旅行者のレンタカー以外での移動手段が不便。アクセスに関する情報もわかりにくい。（中国／男性 30 代／阿寒／満足）
- ・ もっと公共交通機関を充実してほしい。パッケージタクシーなどの導入はどうか。（台湾／女性 30 代／阿寒・弟子屈／大変満足）
- ・ 循環バスが止まらずアクセスがうまくいかない。冬の寒い時期は非常にストレスがたまる。（台湾／女性 20 代／阿寒／満足）

##### （外国語対応について：10件）

- ・ もっと英語の標識を増やしてほしい。ごみの分別の仕方を理解していない人が多い。（オーストラリア／女子 60 代／阿寒・弟子屈／大変満足）
- ・ 売店やホテル内の中国語の翻訳がかなり間違っている。（中国／女性 20 代／阿寒・弟子屈／大変満足）
- ・ 英語の文章の質やハイキングトレイルマップの改善。（アメリカ／男性 30 代／阿寒・弟子屈／大変満足）

##### （情報発信について：7件）

- ・ アイヌミュージアムが閉まっているという情報を事前に得られなかった。（中国／男性 30 代／阿寒・弟子屈／大変満足）

##### （その他：1件）

- ・ 外貨の両替ができない。クレジットカードをの利用できる場所を増やしてほしい。（中国／男性 30 代／阿寒・弟子屈／満足）



**国立公園来訪者アンケート（阿寒摩周国立公園）**

恐れ入りますが、よりよい国立公園の実現に向けて、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

環境省

(調査委託先：公益財団法人日本交通公社 国立公園来訪者アンケート係 連絡先 [national\\_park@jtb.or.jp](mailto:national_park@jtb.or.jp))

回答にあたっての留意点

- 

## 01. 回答者ご自身について

問1 あなたの国籍および現在お住まいの国を教えてください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

問 2（日本以外に在住の場合）今回の入国および出国予定の空港・海港を教えてください。

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

|  |
|--|
|  |
|--|

問3（日本以外に在住の場合）日本に来たのは今回が何回目ですか。（1つだけ）

① 1回目 ② 2回目 ③ 3回目 ④ 4回目 ⑤ 5回目 ⑥ 6～9回目 ⑦ 10～19回目  
⑧ 20回目以上

問4 あなたの性別・年代を教えてください。(それぞれ1つだけ)

|      |           |           |           |           |           |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ① 男性 | ① 18~19 歳 | ② 20~24 歳 | ③ 25~29 歳 | ④ 30~34 歳 | ⑤ 35~39 歳 |
| ② 女性 | ⑥ 40~44 歳 | ⑦ 45~49 歳 | ⑧ 50~54 歳 | ⑨ 55~59 歳 | ⑩ 60~64 歳 |
|      | ⑪ 65~69 歳 | ⑫ 70 歳以上  |           |           |           |

問5 職業を選んでください。(1つだけ)

- ① 会社役員 ② 会社員・公務員 ③ 自営業・自由業 ④ 派遣・契約・嘱託社員  
⑤ パート・アルバイト ⑥ 専業主婦 ⑦ 学生 ⑧ 無職 ⑨ その他 ( )

問6 今回の同行者を選んでください。(いくつでも)

- ① 自分ひとり ② 家族・親戚 ③ 友人 ④ 夫婦・パートナー ⑤ 職場の同僚  
⑥ その他 ( )

問7 今回の旅行手配方法を選んでください。(1つだけ)

- ① 旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した  
② 往復交通と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した  
③ 往復交通や宿泊等を個別に手配した

## 02. 阿寒摩周国立公園への訪問内容について

問8 あなたはこの地域が国立公園であることを知っていましたか。(1つだけ)

- ① 知っていた ② 今回の訪問で知った ③ 知らなかった

問9 あなたが阿寒摩周国立公園に来たのは今回が何回目ですか。(1つだけ)

- ① 1回目 ② 2回目 ③ 3回目 ④ 4回目 ⑤ 5回目 ⑥ 6～9回目 ⑦ 10～19回目  
⑧ 20回目以上

問10 今回、阿寒摩周国立公園を訪れた主な目的をひとつお答えください。(1つだけ)

- ① 自然体験を楽しむ ② 温泉に入る ③ 国立公園への訪問 ④ 自然・景勝地鑑賞  
⑤ 歴史・文化観光 ⑥ おいしいものを食べる ⑦ 買い物をする ⑧ 地域の祭りやイベント  
⑨ 目当ての宿泊施設に泊まる ⑩ 人との出会いや交流 ⑪ 親族・知人訪問 ⑫ 仕事  
⑬ その他 ( )

問11 今回の訪問中に訪れた(または訪れる予定の)スポットをお答えください。(いくつでも)

|          |                                                                                                                                 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 阿寒       | ① 阿寒湖畔エコミュージアムセンター ② 阿寒観光汽船 ③ 阿寒湖アイヌコタン<br>④ 阿寒湖温泉街 ⑤ 氷上フェスティバル会場 ⑥ 雄阿寒岳 ⑦ 阿寒湖畔スキー場 ⑧ 雌阿寒岳<br>⑨ 雌阿寒温泉 ⑩ オンネトー ⑪ その他 ( )         |
| 屈斜路湖・摩周湖 | ① 川湯エコミュージアムセンター ② 美幌峠展望台 ③ 川湯温泉 ④ 硫黄山 ⑤ 摩周岳<br>⑥ 藻琴山 ⑦ 摩周湖(摩周第1展望台・第3展望台) ⑧ 摩周湖(裏摩周展望台)<br>⑨ 屈斜路湖 ⑩ 砂湯 ⑪ 和琴半島 ⑫ 神の子池 ⑬ その他 ( ) |
| 国内       | ① 東京 ② 大阪 ③ 京都 ④ 富士山 ⑤ 札幌<br>⑥ その他 ( )                                                                                          |

問12 今回の訪問中における公園内および周辺の宿泊地についてお答えください。(それぞれ1つだけ)

|     |                           | 宿泊なし                     | 1泊                       | 2泊                       | 3泊                       | 4泊                       | 5泊                       | 6泊                       | 7泊以上                     |
|-----|---------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 公園内 | 阿寒湖周辺                     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | オンネトー・雌阿寒岳周辺              | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | 屈斜路湖周辺(仁伏、砂湯、池の湯、屈斜路コタン等) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | 川湯温泉                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | その他 ( )                   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

|    |        |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                          |
|----|--------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 周辺 | 弟子屈市街  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|    | 釧路市街   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|    | 札幌市街   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|    | その他（ ） | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

問 14 今回、国立公園内で実施した（または実施する予定の）活動をお答えください。（いくつでも）

- ① 自然や景勝地の訪問 ② 現地グルメ・名物料理 ③ まち並み散策・まち歩き  
 ④ 写真・写生 ⑤ 温泉 ⑥ 滞在 ⑦ 歴史的な建造物（寺や神社）や遺跡訪問  
 ⑧ 芸術鑑賞（観劇、コンサート、ライブなど） ⑨ 遊覧船 ⑩ ドライブ・ツーリング  
 ⑪ 祭り・イベント ⑫ 登山・トレッキング ⑬ スキー・スノーボード ⑭ フィッシング  
 ⑮ カヌー・カヤック ⑯ バードウォッチング ⑰ キャンピング ⑱ サイクリング  
 ⑲ ショッピング・買い物 ⑳ その他（ ）

問 15 今回、阿寒摩周国立公園に来るきっかけとなった情報源は何ですか。（いくつでも）

- ① 以前来訪した際の自身の経験 ② 家族や友人知人からの紹介・推奨  
 ③ 個人のブログやインターネット掲示板 ④ 地域や施設の公式 Web サイトの情報  
 ⑤ その他の Web サイトの情報 ⑥ 旅行雑誌・ガイドブックの記事 ⑦ 旅行会社のパンフレット  
 ⑧ テレビや映画での紹介、ロケ地情報 ⑨ 旅行会社の店員からの勧め ⑩ 割引券や優待券  
 ⑪ 自分の意志外（団体旅行・ビジネス・帰省など） ⑫ 特に理由はないが、何となく  
 ⑬ その他（ ）

問 16 今回、阿寒摩周国立公園滞在中に旅行先の情報を得るのに役に立ったのは何ですか。（いくつでも）

- ① 国立公園のビジターセンター ② 観光案内所 ③ 宿泊施設  
 ④ 旅行ガイドブック（有料） ⑤ フリーペーパー（無料） ⑥ インターネット（パソコン）  
 ⑦ インターネット（スマートフォン・タブレット） ⑧ 日本在住の親族・知人  
 ⑨ その他（ ）

問 17 今回の訪問中における公園内および周辺で支出した（または支出する予定の）金額についてお答えください。ただし、支出金額は、「1人あたり」で「日本円」とします。（それぞれ1つだけ）

|     |                             | 支出なし                     | 5 千円未満                   | 5 千円以上<br>1 万円未満         | 1 万円以上<br>3 万円未満         | 3 万円以上<br>5 万円未満         | 5 万円以上<br>10 万円未満        | 10 万円以上                  |
|-----|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 公園内 | 宿泊料金                        | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | 飲食費                         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | 交通費（公園内での支払いに限る）            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | 自然・アウトドア体験に関する<br>娯楽・サービス費  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | その他の<br>娯楽・サービス費            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | 買物代                         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | その他（ ）                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 周辺  | 宿泊料金                        | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|     | 交通費（公園外支払いの場合は<br>公園内移動も含む） | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

### 03. 阿寒摩周国立公園を訪問した感想について

問 18 阿寒摩周国立公園へまた来たいと思いますか。(1つだけ)

- ① 必ず来たい ② 来たい ③ やや来たい ④ 何とも言えない  
⑤ あまり来たくない ⑥ 来たくない ⑦ 絶対来たくない

問 19 今回の阿寒摩周国立公園訪問における満足度をお答えください。(それぞれ1つだけ)

|                      | 大変満足                     | 満足                       | やや満足                     | 普通                       | やや不満                     | 不満                       | 大変不満                     | 利用無該当無                   |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 滞在全体の満足度             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自然景観                 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 宿泊施設                 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 宿泊施設以外の食事            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ビジターセンター             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 現地ツアー・プログラムの内容       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 主要駅等から国立公園への交通案内板・標識 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 遊歩道や展望台などの整備状況       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| パンフレットやスタッフの外国語対応    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| サービス全般               | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 観光等の情報の収集・活用のしやすさ    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| お土産の内容               | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

問 20 阿寒摩周国立公園において、特に満足したことがあればお答えください。

問 21 阿寒摩周国立公園において、特に不満に思ったことまたは改善すべき点があればお答えください。

問 21 差支えなければ、あなたの世帯年収をお知らせください。(年金や利子、配当、地代等の収入も含めてください)

通貨

世帯年収

問 22 最後にご回答いただいた日付をご記入ください。

記入日

(年/月/日)

ご協力ありがとうございました

### 04. 抽選プレゼントの送付先

◎ 抽選を希望される場合には、以下に氏名とメールアドレスを記入ください。

氏名

メールアドレス

※ 公益財団法人日本交通公社はアンケートにご協力頂く方の個人情報は当選者への発送のためにのみ使用し、他の目的に使用することはありません。個人情報の取り扱いについての詳細は、HP (<http://www.jtb.or.jp/>) をご覧ください。